

福井県高速交通開通 アクション・プログラム

別冊 (エリア別プロジェクト集)

平成29年3月改訂

趣 旨

この冊子は、「高速交通開通アクション・プログラム」に掲げた基本戦略を実行に移すため、エリア別に具体的なプロジェクトをとりまとめたものです。

県民が個々のプロジェクトを認識・共有できるようにするため、その実施主体、場所、事業費、事業期間、事業内容を、地図や工程表などにより分かりやすく図解しています。

各プロジェクトは、完成までに長期間を要する大規模事業が中心ですが、その整備効果を一年でも早く発揮できるよう長期的見通しをもって計画的に進めます。当面は、福井国体や東京オリンピックの開催など国内外から多くのひとが訪れる機会が続くことから、それぞれの節目にあわせて二次交通の拡充、都市や地域の基盤づくりなどを進めます。

こうした新しい基盤を活かすため、「福井県観光新戦略」や「福井経済新戦略」などに掲げる関連施策を一体的に実施します。

なお、この冊子は各プロジェクトごとに、これまでの施策の成果および今後実行する内容などをまとめたものです。

北陸新幹線の小浜京都ルートによる大阪までの全線開通や新幹線沿線各県における効果と影響など、今後の状況変化に応じて継続的に見直し、再開発事業など民間のプロジェクトも含めて追加・充実していきます。

県内外の主要日程・主なアニバーサリー（周年）

平成28年度 （2016年度）	平成29年度 （2017年度）	平成30年度 （2018年度）	平成31年度 （2019年度）	平成32年度 （2020年度）	平成33年度 （2021年度）	平成34年度 （2022年度）	平成35年度～	平成42年度 （2030年度）
丸岡城築城440年 福井城築城410年	中部縦貫道延伸 （永平寺大野道路） 白山開山1300年	福井国体開催 明治維新150年	敦賀港開港120年	東京オリンピック 開催 置県140年 恐竜博物館開館 20年 越前大野城築城 440年	一乗谷城下町建設 550年 蓮如、吉崎の坊舎 建立550年	新幹線敦賀開業 ※1 中部縦貫道開通 ※2 敦賀港線開通140年 欧亜国際連絡列車 開通110年	あわら温泉開湯140年 （H36）	新幹線大阪開業 ※2

※1 「整備新幹線の取扱いについて」（H27.1.14政府・与党申合せ） ※2 国に対して要請中

目次

I 新幹線開業対策

I-1 福井駅周辺エリア	1
(1) 福井駅および駅周辺のまちづくり	(3)
(2) 県都デザイン戦略の新展開	(4)
(3) 一乗谷ミュージアム化の推進	(6)
(4) 永平寺門前の再構築	(8)
(5) 越前海岸の周遊観光ルート化	(11)
I-2 芦原温泉駅周辺エリア	13
(1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり	(15)
(2) あわら温泉街のまちなみ形成	(16)
(3) 東尋坊の景観形成	(17)
(4) 三国湊の町家活用	(18)
(5) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大	(19)
I-3 南越駅（仮称）周辺エリア	21
(1) 南越駅（仮称）および駅周辺のまちづくり	(23)
(2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり	(24)
(3) コンパクトな鯖江のまちづくり	(25)
(4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化	(26)
(5) 南条SAの集客力の活用	(27)
(6) 今庄宿の歴史空間の再生	(28)
(7) 里山里海湖の保全・活用	(29)
I-4 敦賀駅周辺エリア	31
(1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり	(33)
(2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現	(34)
(3) 三方五湖の自然と歴史の活用	(35)
(4) 園芸・水産の研究と生産の拠点化	(36)

II 高規格幹線道路開通対策

II-1 中部縦貫自動車道周辺エリア	37
(1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	(40)
(2) 恐竜渓谷100万人構想の実現	(41)
(3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生	(43)
(4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生	(44)
(5) 六呂師高原の活性化	(45)
II-2 若狭さとうみハイウェイ周辺エリア	47
(1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	(50)
(2) 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」のレベルアップ	(51)
(3) 里山と里海湖の観光ビジネスの強化	(52)

III 広域プロジェクト・ソフト施策	53
(1) 地域公共交通ネットワークの拡充	(54)
(2) 里山里海湖ビジネスの拡大	(55)
(3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信	(56)
(4) 里山里海湖の景観の保全・活用	(57)

IV 市町等の応援方策	59
-------------------	----

V 近隣府県との連携プロジェクト	60
------------------------	----

【参考】エリア別プロジェクトの体系	61
-------------------------	----

資料編

(省略)

凡例

- ※ 黒字は着手済みの事業
- ※ 赤字は29年度予算の新規事業等
- ※ 青字は、今後の検討課題

県および市町の29年度
実施事業の内容

I-1 新幹線開業対策 福井駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・県都デザイン戦略の第2期プロジェクトの具体化と実行(福井城址公園の整備、都市インフラのリニューアルなど)
- ・中世歴史遺産(一乗谷朝倉氏遺跡、永平寺門前)の魅力向上の加速化
- ・福井駅と周辺の拠点をつ結ぶ二次交通の強化

県都デザイン戦略の実行 (P4~5)

福井城址を核に、歴史を活かした県都のまちづくりを実行

- ・山里口御門の復元
- ・中央公園の再整備
- ・グリフィス記念館の整備
- ・由利公正広場の整備
- ・足羽山ビジターセンターの整備 など

福井駅周辺の整備 (P3)

福井駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・福井駅西口・東口広場、ハピリンの整備
- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ
- ・えちぜん鉄道の高架化
- ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸
- ・市内循環鉄道の調査 など

越前海岸の周遊観光ルート化 (P11)

越前海岸ラインを新しい観光ルートとしてネットワーク化

- ・北前船主館群の景観整備
- ・金ヶ崎周辺の整備
- ・里山里海湖の景観保全 など

広域道路等の整備促進

- ・国道8号 福井バイパス
- ・国道364号 永平寺インター道路
- ・国道158号バイパス
- ・道の駅「禅の里」など

松岡地区のまちづくり (P10)

「禅」、「食」、「酒」をテーマとしたまちづくりを実行

- ・魅力発信交流施設(拠点)の整備

永平寺門前の再生 (P8~9)

本物の禅の心につれる体験観光の充実やまちなみの整備

- ・宿泊施設や観光案内所の整備
- ・旧参道や永平寺川の景観形成
- ・自動走行の実証 など

一乗谷朝倉氏遺跡のレベルアップ (P6~7)

日本最大の戦国城下町跡として、「一乗谷ミュージアム」化を推進

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備
- ・山城部の環境整備や露出展示の実施
- ・展望所の整備や無電柱化の拡大
- ・中世都市遺跡研究の拠点化 など



○主な関連事業の年次計画

※ 黄色矢印は、新幹線開業後も継続

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
福井駅	鉄道・運輸機構 — 県 約116億円 福井市 — 民間 —	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計		駅舎整備		試験運転等	
		えちぜん鉄道の高架化							
		駅東口広場等の整備							
		市内循環路線の調査、二次交通の充実							
県都デザイン	県 約3億円 県 — 福井市 約9億円 福井市 —	山里口御門の復元							
		福井城址の復元・整備							
		中央公園整備、市道県庁線等の整備							
		足羽山ビジターセンターの整備、白山テラスの利活用整備							
一乗谷朝倉氏遺跡	県・福井市 — 県 — 県・福井市 — 県・福井市 — 福井市 —	一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備							
		中世都市遺跡研究の拠点化							
		特別名勝庭園の再生							
		遺跡の露出展示の推進							
永平寺	民間 約13億円 県・永平寺町 約8億円 県 約1億円	宿泊施設の整備							
		旧参道の整備、永平寺川の修景							
		永平寺インター 道路の整備							
広域	県・国 —							広域道路の整備促進	

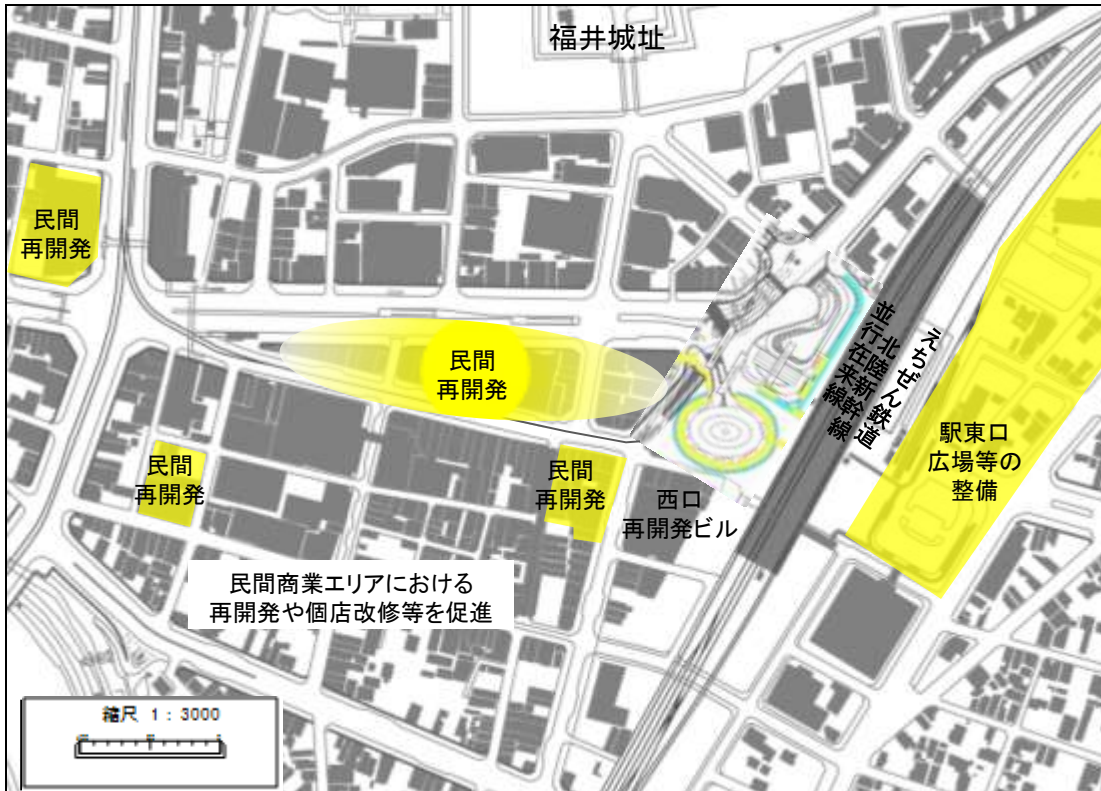
1-1(1) 福井駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・福井市・民間	場所	福井市
事業費	約150億円～	期間	～H30

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・駅西口広場、再開発ビルの整備(市、H27) ・自然史博物館分館(ドームシアター等)の整備(福井市、H27) ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ(民間、H27～) ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸(民間、H27) ・新幹線駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東口広場等の整備(市、～H30) ・えちぜん鉄道の高架化(県、～H30) ・市内循環鉄道の調査(県、H28～) ・個店の改修等への支援(県・市、～H29) ・福井駅・城址周辺地区での再開発(民間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間・行政による新幹線高架下の有効活用 ・新幹線駅舎構内への観光案内所の設置 ・公共施設の再配置等による市中心部への都市機能の再集約 ・民間の再開発事業にあわせた歩行者と鉄道が共存できる空間の検討

駅西口広場や西口再開発ビル整備に続き、えちぜん鉄道の高架化など、新幹線延伸に向けて福井駅周辺を整備します。また、老朽化ビルの更新やリノベーションへの民間投資を促進し、県都の賑わいづくりを推進します。

駅舎コンセプト 太古から未来へ ～悠久の歴史と自然がみえる駅～



○29年度実施事業【福井県】

- ・えちぜん鉄道高架工事(H24～H30)
(福井駅付近連続立体交差事業 825,000千円)
- ・福井市が行う駅東口広場等の整備支援
(福井駅周辺土地地区画整理事業 4,600千円)
- ・個店の改修等の支援
(おもてなし商業エリア創出事業 73,873千円の内数)

○29年度実施事業【福井市】

- ・市街地再開発事業等の支援、駅東口広場等の整備
(市街地再開発事業等支援事業 273,300千円)
(福井駅周辺土地地区画整理事業 372,673千円)
- ・個店の改修等の支援
(おもてなし商業エリア創出事業等 18,450千円)



えちぜん鉄道福井駅(イメージ)

出所 福井県作成、福井市提供
※区域は概ねの位置を示したもの

1-1(2) 県都デザイン戦略の新展開

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	約12億円～	期間	～H30

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・天守台跡、散策路の整備(県、H18) ・御廊下橋の復元(県、H19) ・まちづくりガイドラインの策定(市、H27) ・中央公園(第1期)の再整備(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山里口御門、福の井の整備(県、～H29) ・中央公園(第2期)の再整備(市、～H30) ・城址周辺道路等の整備(市、～H29) ・福井城址公園整備構想の検討(県、～H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の福井城址内の天守閣や櫓等の復元整備の検討、城址公園エリアの拡大 ・福井駅・城址周辺地区の緑のシンボル軸の形成

福井城址は、「68万石の城下町福井」を象徴する重要な歴史資源です。これを県都の新たなシンボルとするため、専門家の助言を得ながら、本丸エリアを中心にした福井城址公園の整備構想の検討を開始します。

あわせて「緑のシンボル軸」の形成により、緑あふれる県都を実現します。



福の井の再整備



山里口御門の復元



市道県庁線と連続した歩行者空間の整備

○29年度実施事業【福井県】

- ・山里口御門の整備、中央公園周辺整備への支援等の実施
(県都デザイン戦略推進事業 125,171千円)

○29年度実施事業【福井市】

- ・中央公園の再整備
(中央公園周辺再整備事業 180,100千円)
- ・城址周辺の道路空間の整備
(福井城址周辺整備事業 149,010千円)

福井城址



中央公園の再整備(西側からの鳥瞰図)

出所「県都デザイン戦略」(福井県、福井市)、「福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン(素案)」(福井市)、「中央公園周辺再整備基本計画」(福井市)より

県都デザイン戦略〔まちなか観光の推進〕

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	継続実施

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・由利公正広場の整備(県、H25) ・グリフィス記念館の整備(市、H27) ・足羽山魅力向上計画の策定(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰舟体験の継続的实施(県、H27～) ・足羽山ビジターセンターの整備(市、H29～) ・白山テラスの利活用のための施設整備(市、H29～) ・足羽山公園等の整備(市、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用

福井の歴史文化を学ぶ機会として「毛矢の繰舟」体験を継続的に実施し、幕末の偉人ゆかりの場所を回遊する散策ルートの魅力づくりを推進します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・足羽山ビジターセンター整備への支援(「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)
 - ・足羽川での繰舟体験の実施(足羽川の利活用促進事業 4,819千円)
- 29年度実施事業【福井市】
 - ・足羽山ビジターセンターの整備、自然史博物館のバリアフリー化、足羽山公園等の整備(足羽山魅力向上事業 70,984千円)



福井市グリフィス記念館(浜町地区)



足羽山ビジターセンターの整備(イメージ)

1-1(3) 一乗谷ミュージアム化の推進

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	～H33

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・月見やぐら跡展望所の整備(県、H26) ・一乗谷レストランの整備(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備(県、～H33) ・特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生(県、～H32) ・中世都市遺跡研究の拠点化(県、H28～) ・オーベルジュの整備(県、H28～) ・みらくる亭の大規模改修(市、H29～) 	

日本最大の戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡において、中世都市遺跡の研究拠点や新たな博物館の整備、一乗谷朝倉氏庭園の再生等を進め、遺跡全体をレベルアップします。



朝倉館の一部を再現

○29年度実施事業【福井県】

- ・新博物館の建築基本設計・展示実施設計、中世都市遺跡の研究拠点化に向けた資料のアーカイブ化、特別名勝庭園再生に向けた調査等〔特別名勝庭園〕
朝倉館跡庭園、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園、南陽寺跡庭園
(「一乗谷ミュージアム」化推進事業 199,780千円)

○29年度実施事業【福井市】

- ・新たな誘客に向けたみらくる亭の大規模改修
(みらくる亭大規模改修基本計画策定 9,963千円)

実施中の事業

(遺跡の整備)

復原町並の拡充整備

- ・施設の利用開放や実演展示の実施

遺跡の見える化の推進

- ・露出展示の推進(西山光照寺跡)

立体活用の推進

- ・ビューポイントの整備
- ・山城部へのアクセスの整備

(周辺環境整備)

河川改修(護岸整備)

史跡と調和した自然景観の創造

周遊環境の整備

- ・周遊道の再整備
- ・食や土産物を提供する施設の整備

【追加】一乗谷ミュージアム化の推進〔一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）整備〕

主体	県	場所	福井市
事業費	未定	期間	～H33

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の展示基本設計の実施（県、H28） 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示・ガイダンス棟の整備（県、～H33） ・館蔵品のデジタル化（県、H28～） 	

全国の中世都市遺跡の研究拠点や遺跡観光のゲートウェイとなる一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）を整備します。

展示概要

<ガイダンスゾーン（無料）>

- ・戦国大名朝倉氏の歴史や遺跡の全体像など、遺跡および博物館展示の見学に必要な基礎情報をわかりやすく提供

<展示ゾーン（有料）>

- ・基本展示室の面積は、約4倍に拡大
- ・「戦国大名朝倉氏と都市一乗谷」、「城下町一乗谷の人々と暮らし」、「華麗なる朝倉文化・朝倉館の再現」の3つのゾーンに分けて展開
- ・「朝倉館」の原寸再現空間で朝倉文化を体験・体感

<展示ゾーン（有料）>

【戦国大名朝倉氏と都市一乗谷】

戦国大名朝倉氏の権力構造と越前支配の特質を紹介

【城下町一乗谷の人々と暮らし】

都市一乗谷の高密度な集住空間を再現し、城下町での武士や町人等の日常生活を紹介

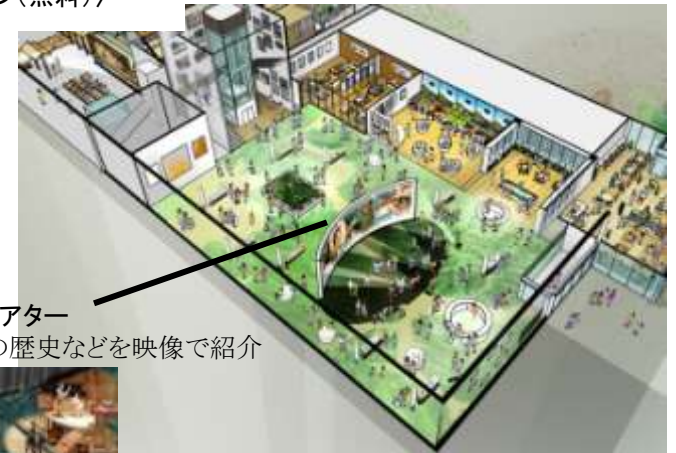
宗滴シアター
朝倉氏の合戦史などを映像で紹介

巨大ジオラマ（スケール1/20）



<ガイダンスゾーン（無料）>

大型映像シアター
戦国大名朝倉氏の歴史などを映像で紹介



【華麗なる朝倉文化・朝倉館の再現】

朝倉氏の文化志向と文化醸成の活動を紹介 朝倉館の主要部を原寸再現

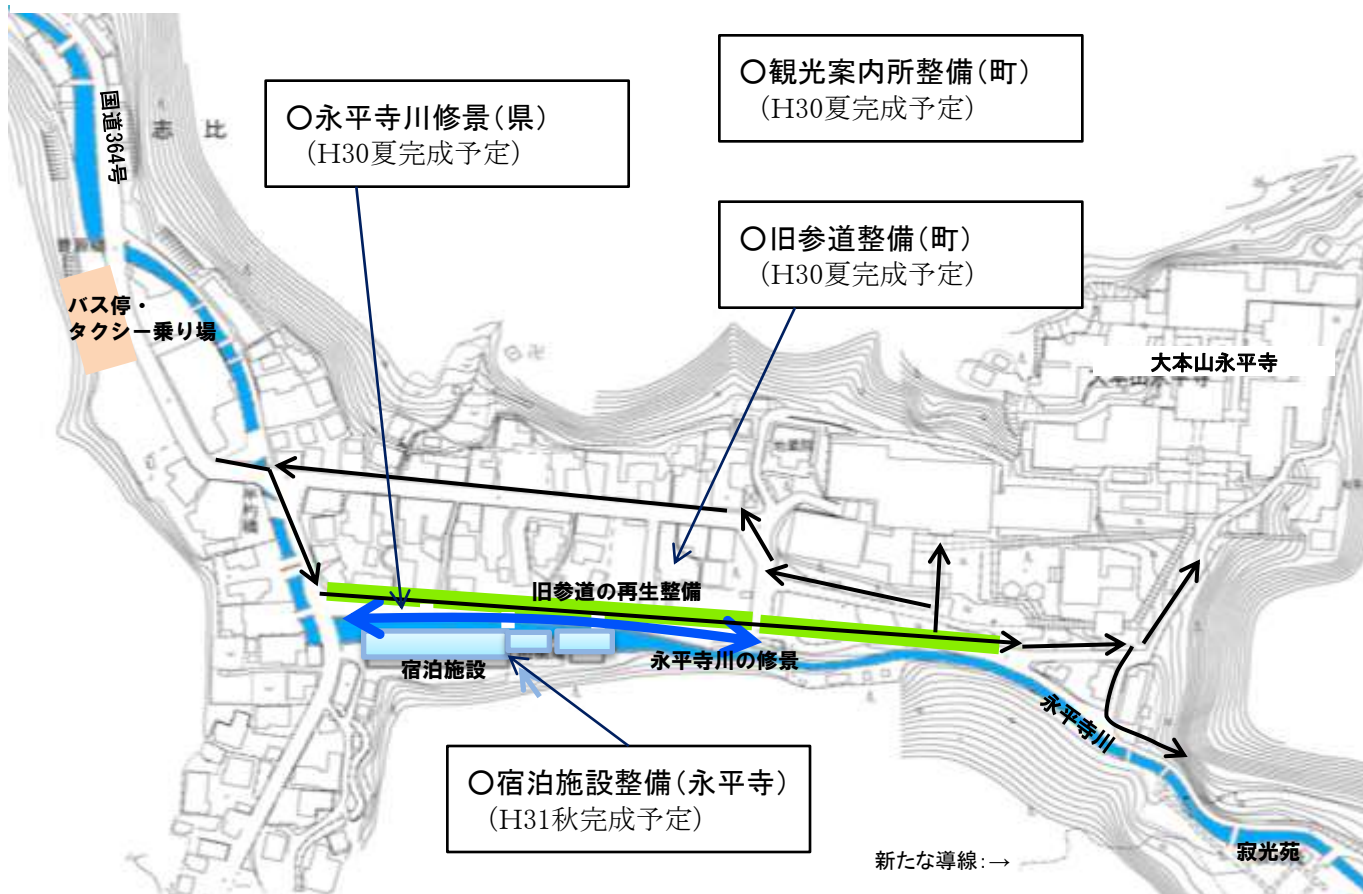


1-1(4) 永平寺門前の再構築

主体	県・永平寺町・民間	場所	永平寺町
事業費	約21億円	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装の高質化、商店街の外観統一(町、H23) 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設の整備(民間、～H31) 旧参道、観光案内所の整備(町、～H30) 永平寺川の護岸改修(県、～H30) 自動走行システム(永平寺口～門前)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 禅の道(国道364号)の整備 永平寺インター線(町道)の整備

国内外の知名度が高い永平寺において、外国人観光客に対応した宿泊施設整備を核として、旧参道の再生、永平寺川の修景などを一体的に行い、永平寺、永平寺町、県が協力して、禅(ZEN)を体感できる環境を整備します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - 永平寺町が行う旧参道等整備への支援 (観光まちなみ魅力アップ事業 85,192千円)
 - 永平寺川の護岸改修 (県単河川維持修繕事業 185,000千円)
 - 永平寺町が行うクルマの自動走行の実証路整備への支援 (自動走行基盤整備支援事業 30,000千円)
- 29年度実施事業【永平寺町】
 - 旧参道の石畳化、無電柱化、観光案内所整備 (観光まちなみ魅力アップ事業 351,459千円)



主体	県・市町・民間	場所	永平寺町
事業費	未定	期間	H29～

【追加】永平寺門前の再構築〔自動走行システムの導入〕

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動走行の実証路等の整備(県・永平寺町、H29～) ・運行管理システム・実証車両の開発、運行(民間、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動走行の実用化・商業運行

運行コストの抑制やドライバー不足への対応の観点から、新たな移動サービスとして期待される自動走行システムの導入に向け、永平寺口駅から永平寺門前を結ぶ廃線跡地の「永平寺参ろ一ど」において、自動走行車両を実証運行します。

また、駅施設を活用した太陽光発電や電車のブレーキから発生する回生電力の活用など、再生可能エネルギーの活用を進めます。

永平寺口駅



運行内容

- ・「永平寺参ろ一ど」を活用(約6km区間)
- ・片道20分程度で運行



大本山永平寺



実証基盤の整備

- ・永平寺口駅周辺の整備(県・永平寺町)
- ・「永平寺参ろ一ど」の舗装・改修等(永平寺町)
- ・運行管理システム、実証車両の開発(民間)

○29年度実施事業【福井県】

- ・永平寺町が行うクルマの自動走行の実証路整備への支援
(自動走行基盤整備支援事業 30,000千円)

実証スケジュール(予定)

- H29 システム開発、インフラ整備
- H30 実証運行
- H31～ 実用化

永平寺門前の再構築〔永平寺からの誘客〕

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	～H28

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・えい坊館の整備(町、H28) ・多目的広場や散策路のサインの整備(町、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒蔵を巡る見学ツアーの実施(市町・民間、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大本山永平寺を含む広域的な周遊ネットワーク形成

松岡藩当時の古町割や町家が残る永平寺町松岡地区において、精進料理に宿る「禅」、九頭竜川の恵みを活かした地域独自の「食」や「酒」を味わい、体験できる新たな観光拠点を整備します。



映像による観光情報、禅・歴史・文化の発信(H27～)



旧織物会館の意匠を踏襲した魅力発信交流施設「えい坊館」の整備(H28)

- ・地元物産品(ごま豆腐、地酒等)の販売
- ・演奏会等の定期的なイベントの開催
- ・地域の食の提供
- ・地域の歴史・文化、生業等の紹介

出所「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト」(永平寺町)より

1-1 (5) 越前海岸の周遊観光ルート化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	継続実施

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・国民宿舎鷹巣荘のリニューアル(福井市、H26) ・右近家離れの整備(南越前町、H27) ・北前船主通りの景観整備(南越前町、～H28) ・ガラガラ山キャンプ場の整備(福井市、H28) ・三国湊の町屋活用(坂井市) ・道の駅の整備(市町) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、H28～) ・パイプラインによる農業、園芸振興(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ崎周辺整備構想の実現

北前船寄港地の敦賀湊と三国湊には、独自の食文化や船筆筒などの手工業が育まれてきました。また、日本の棚田百選「梨子ヶ平地区」の千枚田や越前水仙群生地、呼鳥門をはじめとする景勝地、旧北陸本線の隧道(トンネル)群、温泉など、越前海岸線は約80kmの間に多様な魅力を有します。

こうした地域資産をネットワーク化し、越前海岸ラインを新しい観光ルートとして発信します。

北前船の歴史



みくに龍翔館のリニューアル



北前船主 中村家住宅
(H28～ 特別公開)

○29年度実施事業【福井県】

・越前海岸水仙畑の文化的景観保存調査の実施
(福井ふるさと広域景観形成事業 13,220千円の内数)

※ 三国湊周辺整備【坂井市】(P18)、水仙ランド再整備【越前町】(P29)、金ヶ崎周辺整備【敦賀市】(P34)に詳細あり

水仙畑を
重要文化的景観に申出



I-2 新幹線開業対策 芦原温泉駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・芦原温泉駅の二次交通や情報発信機能、物販・宿泊等の商業機能の拡充
- ・東尋坊、あわら温泉に続く観光拠点の創出(吉崎御坊、北潟湖、丸岡城など)
- ・農業用水路のパイプライン化を活かした農業や園芸の拡大

東尋坊の環境整備 (P17)

東尋坊商店街の入口から岩場までの景観形成

- ・東尋坊商店街の石畳舗装、無電柱化
- ・観光交流センターの整備
- ・岩場テラスの安全対策の実施 など

三国湊のまちづくり (P18)

三国湊の歴史・文化の発信、空き町家を活用した古い町並みの再生

- ・古民家ゲストハウスやアーバンデザインセンター坂井等の整備
- ・ポケットパークの整備
- ・みくに龍翔館のリニューアル など

情緒あふれる温泉街の形成 (P16)

大正から昭和初期の風情を感じる温泉街の散策環境を整備

- ・「芦湯」や藤野巖九郎記念館の整備
- ・石畳歩道や行灯型街路灯の整備 など

公共交通の拡充

- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ

越前海岸の広域観光ルート化【再掲】

広域道路の整備促進

- ・国道8号 福井バイパス
- ・三国東尋坊芦原線
- ・福井港丸岡インター連絡道路 など

芦原温泉駅の周辺整備 (P15)

芦原温泉駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・交流拠点施設「aキューブ」の整備
- ・西口、東口駐車場の整備
- ・金沢駅や小松空港との無料バスの運行 など

丸岡城の国宝化

- ・日本一短い手紙の館の整備 など



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
芦原温泉駅	鉄道・運輸機構 —	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計		駅舎整備		試験運転等	
	あわら市 約40億円	にぎわい街区広場の整備							
	県・あわら市 —	西口アクセス道路、東口アクセス道路、東西自由通路の整備							
	県・あわら市 —	西口広場、東口広場の整備							
東尋坊・三国港	県 —	三国東尋坊芦原線 (三国町崎～梶)							
	坂井市 約1億円		東尋坊散策路・空き店舗						
	坂井市 約1億円	町家活用 (旧大木道具店、アーバンデザインセンター坂井)							
	坂井市 —	みくに龍翔館のリニューアル							
	坂井市 —	三国駅のリノベーション(H32目途)							
あわら温泉	あわら市 約2億円	街路整備							
丸岡城	坂井市 —	国宝指定の実現							
広域	県 —	パイプライン活用による農業・園芸拡大							
	県・国 —	広域道路の整備促進							

1-2(1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり

主体	あわら市	場所	あわら市
事業費	約40億円	期間	～H34

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・西口駐車場の整備(市、H21) ・「aキューブ」、ポケットパークの整備(市、H26) ・現駅構内のエレベータ設置(JR、H27) ・新幹線駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) ・駅周辺整備基本計画の改訂(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西口、東口広場の整備(市、～H34) ・アクセス道路の整備(県・市、～H34) ・にぎわい街区広場の整備(市、～H30) ・東西自由通路の整備(市、～H34) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路(芦原温泉停車場線)の整備(県) ・周辺観光地との二次交通の充実

福井の北の玄関口にふさわしい芦原温泉駅を整備するとともに、東西広場やアクセス道路、周辺観光地との二次交通の充実など、地域交通の拠点化を進めます。

駅舎コンセプト あわらの大地に湧き出る贅の駅



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・あわら市が行う新幹線駅の周辺整備支援(北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 -)
 - ・アクセス道路(芦原温泉停車場中川線)整備(道路改良事業 20,000千円)
- 29年度実施事業【あわら市】
 - ・駅前広場やアクセス道路等の整備、駅周辺の将来デザインに基づく基本計画策定(芦原温泉駅周辺整備事業ほか 550,285千円)



金津本陣にぎわい広場、交流拠点施設「aキューブ」の整備

金沢方面

出所「芦原温泉駅周辺整備基本計画書(改定)」(あわら市 H29年3月策定)より

1-2(3) 東尋坊の景観形成

主体	坂井市	場所	坂井市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路の石畳舗装や無電柱化(県、H23) ・観光交流センターの設置(市、H23) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内の周遊パスポートの発行(市・民間、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東尋坊商店街の空き店舗の活用、散策路の再整備

県内最大の観光地である東尋坊において、商店街の空き店舗や空き地の解消とにぎわい創出をめざし、坂井市ゆかりの文人の発信機能やポケットパーク等の整備を検討します。



〔施策の方向〕

東尋坊商店街の空き家、
空き地の解消



荒磯遊歩道との周遊促進



ゆかりの文人の記念碑



1-2(4) 三国湊の町家活用

主体	坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 古民家ゲストハウスや店舗、ポケットパーク等の整備(市、H27) 小松長生氏生家のリノベーション(民間、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> 旧大木道具店の再生(市、~H29) みくに龍翔館のリニューアル(市、H27~) えちぜん鉄道三国駅の改築(市、H28~) 歴史文化基本構想の策定(市、H29~) アーバンデザインセンター坂井の整備(市、H29) 	<ul style="list-style-type: none"> 水産物PR施設の整備

北前船の寄港地として栄えた三国湊において、町家を再生して趣を感じるまちなみを形成します。



坂井市全体の博物館としてみくに龍翔館をリニューアル

- 29年度実施事業【福井県】
 - 旧大木道具店改修への支援
(「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)
- 29年度実施事業【坂井市】
 - 三国駅舎・駅前広場の再整備、みくに龍翔館のリニューアル基本計画策定着手、旧大木道具店の改修
(三国駅周辺整備事業など 306,710千円)

三国湊のまちなみ再生



アレックス・カー氏監修の古民家ゲストハウス改修



えちぜん鉄道三国駅舎の整備(イメージ)

出所「三国湊町家活用プロジェクト」(坂井市)、「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、坂井市ホームページより

1-2 (5) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大

主体	国、坂井市	場所	坂井市
事業費	約6億円～	期間	継続実施

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川下流地域パイプラインの整備 (国、～H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆりの里の園内水路や散策道、農産物直売所の整備 (市、～H29) ・パイプラインを活用した米や園芸生産物の生産拡大とブランド化 (県、H28～) 	

パイプライン化の完了を受けて、高食味米の生産や水田園芸の拡大など、収益性の高い農業への転換を進めます。また、ゆりの里公園の調圧水槽をライトアップするとともに、農林水産物の直売所や農家レストランを整備し、地域の特産物を提供するなど、坂井エリア一帯のブランド化を推進します。



○調圧水槽、公園内水路のライトアップ

○ゆりの里公園の園内整備
調圧水槽を活用した公園内の水路整備、散策道整備等

○農家レストラン、農産物直売所の整備

○29年度実施事業【福井県】

- ・坂井市が実施するゆりの里公園整備を支援 (農村振興総合整備統合補助事業 227,050千円の内数)
- ・メガファーム化、水田園芸を行う集落営農組織の育成等 (九頭竜川下流地域における農業振興 435,438千円)

○29年度実施事業【坂井市】

- ・農家レストランやライトアップ設備等の整備 (農山漁村活性化プロジェクト支援事業 282,000千円)

I-3 新幹線開業対策 南越駅(仮称)周辺エリア

○エリアの方向性

- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興
- ・南越駅と周辺市町、観光地との道路や公共交通ネットワークの整備



鯖江駅の周辺整備 (P25)
 鯖江駅～西山公園の市街地整備
 ・商業エリアの個店改修 など

南越駅(仮称)の周辺整備 (P23)
 南越駅(仮称)および周辺整備
 ・駅前広場等の整備
 ・南越駅アクセス道路の整備 など

越前ものづくりの里プロジェクト (P26)
 伝統工芸の産地における拠点や産地全体の連携拠点を整備
 ・サンドーム福井の再整備
 ・越前古窯博物館の整備
 ・漆器工房の見える化
 ・紙の文化博物館の再整備
 ・打刀物拠点施設の整備 など

今庄宿の歴史空間の再生 (P28)
 宿場町や鉄道のまちの風情が感じられる町並みの保存、景観整備
 ・北国街道の道路舗装の高質化 など

広域道路の整備促進
 ・国道476号 持越バイパス
 ・国道417号 冠山峠道路 など

水仙ランド周辺の景観づくり (P29)
 越前海岸の景観を活かした観光名所形成
 ・絶景ポイントの整備
 ・文化的景観の保存調査 など

北前船の歴史空間の再生 (P11)
 北前船の歴史を核としたまちなみを整備
 ・右近家離れの再整備
 ・北前船主通りの舗装高質化
 ・馬借街道のトレイルコース整備 など

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

●農業ビジネスセンターの開設
 ●ファイナリーの整備

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～	
南越駅 (仮称)	鉄道・運輸機構		駅舎基本設計	駅舎実施設計		駅舎整備		試験運転等		
	県・越前市		駅前広場等の整備							
	県・越前市		アクセス道路の整備							
武生駅	越前市		新庁舎の整備							
	越前市		タンス町通りの整備							
	県・越前市 約5千万円		商業エリアの個店改修							
鯖江駅	鯖江市・民間		鯖江駅周辺の整備							
	県・鯖江市 約6千万円		商業エリアの個店改修							
ものづくりの里	県 約4億円	サンドーム 福井の再整備								
	県 約8億円	越前古窯博物館整備								
	越前市 約2億円	紙文化博物館整備								
	越前市 約3億円	打刃物拠点施設の整備								
	県・鯖江市 約8千万円	ラポーゼかわだ 再整備								
旧街道・県境	南越前町 約7億円	今庄宿の整備								
	越前町 約1億円	水仙ランド								
	国 約57億円 (県想定)	国道417号 冠山峠道路						(県想定)		
広域	県・国	広域道路の整備促進								

1-3 (1) 南越駅(仮称)および駅周辺のまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	～H34

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅舎デザインのコンセプト提案(市、H27) ・南越駅周辺整備基本計画の策定(市、H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東西アクセス道路の整備(着手)(県、～H34) ・駅前広場、観光交流センター等の整備(市、～H33) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地や周辺観光地との二次交通の確保

県内唯一の新駅となる南越駅(仮称)を整備するとともに、駅前広場や道の駅の機能をもつ施設、アクセス道路等を整備します。

駅舎コンセプト 伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅



○29年度実施事業【福井県】

- ・越前市が行う新幹線駅の周辺整備支援(北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 -)
- ・新幹線駅のアクセス道路の整備(道路改良事業 273,000千円)

○29年度実施事業【越前市】

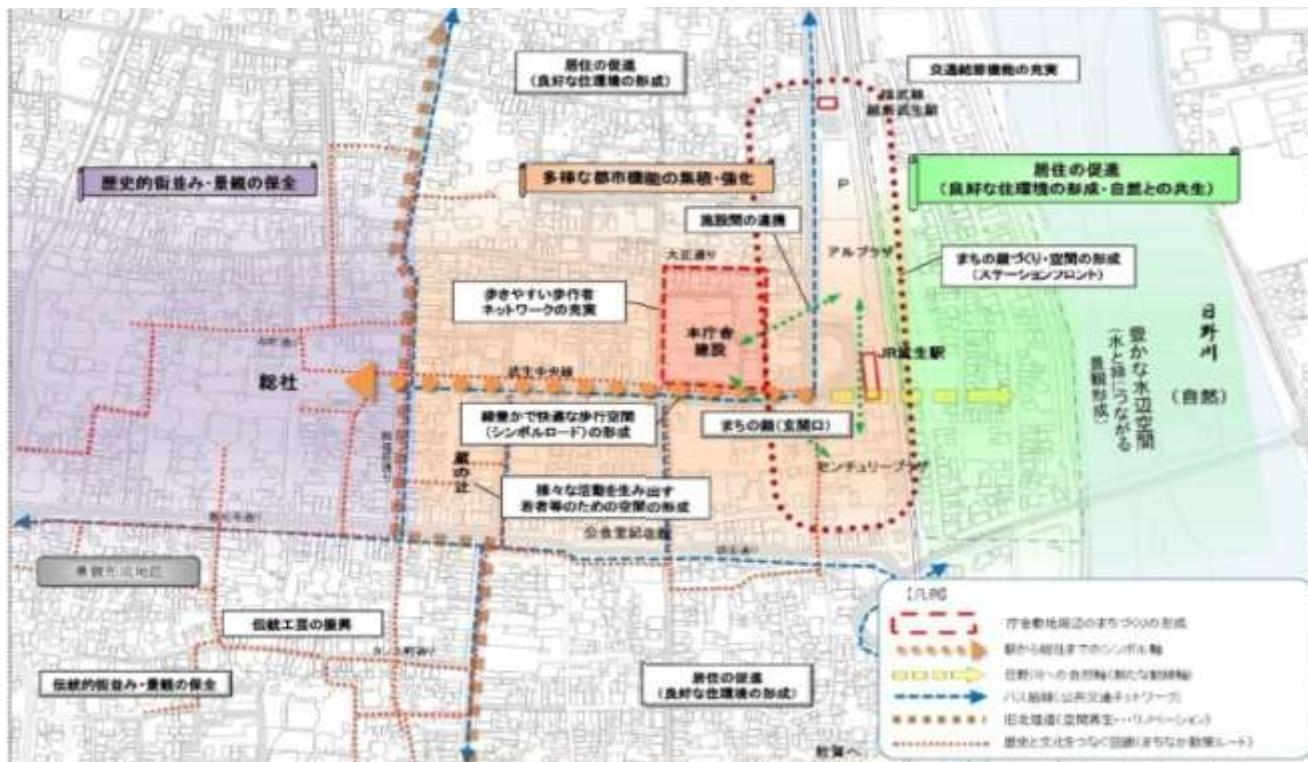
- ・駅前広場の詳細設計、用地取得の実施(北陸新幹線南越駅周辺整備事業 748,700千円)

1-3 (2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり

主体	越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	~H32

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 蔵の辻広場の整備(市、H13) 	<ul style="list-style-type: none"> 武生中央公園の再整備(市、~H30) 市役所新庁舎の整備(市、~H32) 個店の改修等への支援(県・市、H28~) ちひろの生まれた家記念館の整備(市、H29~) 	<ul style="list-style-type: none"> ダンス町通りの整備 福武線鉄道ミュージアムの整備

武生駅周辺には、古代から国府や国分寺、府中城などが置かれ、長く地域の政治・経済の中心地でした。今後とも、現在の市役所庁舎敷地に新庁舎を配置し、武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成し、新しい中心市街地づくりをめざします。



○29年度実施事業【福井県】

- ・個店の改修等への支援
(おもてなし商業エリア創出事業 73,873千円の内数)

○29年度実施事業【越前市】

- ・新庁舎の建設、武生中央公園の大型複合遊具等の整備、ちひろの生まれた家記念館の整備
(本庁舎建設事業など 1,108,067千円)
- ・個店の改修等への支援
(商業活性化支援 8,185千円)



市役所本庁舎の概観イメージ(実施設計中)



大正~昭和初期の木造建築物の再生(蔵の辻)

出所「本庁舎建設基本構想・基本計画」(越前市)より

1-3 (3) コンパクトな鯖江のまちづくり

主体	鯖江市	場所	鯖江市
事業費	未定	期間	未定

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入(市、H24) ・学生による滞在型まちづくり活動の実施(市、H25～) ・道の駅「西山公園」の整備(県、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個店の改修等への支援(県・市、H28～) ・鯖江駅周辺の景観整備(市、H28～) ・サテライトオフィスの誘致(市、H29～) ・西山公園鯖江IC連絡道路の整備調査(市、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江駅から西山公園までの導線づくり

県内第3位の観光地になった西山公園と中心市街地を結ぶ導線を整備し、市内への人の流れを拡大します。また、オープンデータやITをまちづくりに積極的に取り入れ、都会的なサービスを提供するなど、若者が住みたくなるまちをめざします。



道の駅「西山公園」の整備



○29年度実施事業【福井県】

- ・個店の改修等への支援
(おもてなし商業エリア創出事業 73,873千円の内数)
- ・鯖江市が行う空き家活用等への支援
(「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)

○29年度実施事業【鯖江市】

- ・個店の改修等への支援
(おもてなし商業エリア創出事業 26,065千円)
- ・空き家を活用したサテライトオフィスの誘致
(空き家活用マッチングプロジェクト 11,000千円)
- ・西山公園鯖江IC連絡道路の整備調査
(西山公園鯖江IC連絡道路整備調査事業 2,000千円)
- ・鯖江駅～めがね会館間の歩行者空間の整備
(めがねストリート整備事業 40,000千円)



JR鯖江駅「えきライブラリー」の設置・運営



めがねをPRするモニュメント設置(鯖江駅～めがね会館間)

1-3 (4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化

主体	県・市町	場所	越前市他
事業費	約17億円	期間	～H30

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 漆器工房の見える化、空き家を活用した交流拠点の整備(市、H26) サンドーム福井へのデザインセンター移転、産業振興・人材育成拠点の整備(県、H28) 紙の文化博物館のリニューアル(越前市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> コウゾや漆の森づくり(県・鯖江市、H27～) 越前古窯博物館の整備、水野コレクションの展示(県、～H29) 越前打刃物拠点施設の整備(越前市、～H30) ラポーゼかわだの機能強化(鯖江市、H29) 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統工芸品集積群の日本遺産認定 世界無形文化遺産への「和紙」の追加登録、「漆文化」の登録 南越駅(仮称)周辺を交流起点として整備

丹南エリアには、越前和紙や越前漆器など、5つの伝統工芸産地が集積しています。県の「越前ものづくりの里プロジェクト」を越前市の「工芸の里構想」などと一体的に推進し、各産地における発信拠点の整備、産地間や近隣観光地との周遊ルートづくりを進めます。

越前焼産地



越前古窯博物館の整備
 ・水野九右衛門家住宅の移築
 ・資料館、天心堂、天心庵(茶室)の整備

越前漆器産地

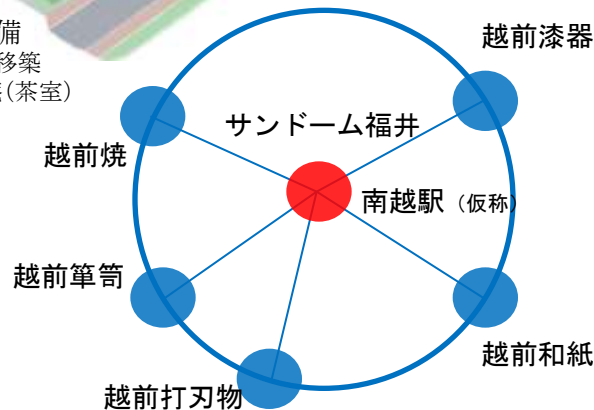


・漆器工房の見える化
 ・小型山車の製作
 ・河和田アートキャンプの実施

越前和紙産地



紙の文化博物館のリニューアル
 ・紙道具類など、重要文化財の展示
 ・和紙を使った日本画などの展示



○29年度実施事業【福井県】

- 水野九右衛門家住宅、資料館等の整備
(越前古窯拠点整備事業 238,030千円)
- 伝統工芸産地連携によるPR等
(越前ものづくりの里プロジェクト 31,174千円)
- 越前和紙や越前漆器の原料確保への支援
(ふるさと特用林産物再生事業 8,866千円の内数)

○29年度実施事業【市】

- 打刃物拠点施設の整備【越前市】
(工芸の里構想推進事業 254,918千円)
- ラポーゼかわだの機能強化【鯖江市】
(ラポーゼかわだ改修事業 80,272千円)
- 河和田地区の産業観光の推進【鯖江市】
(河和田くらしの祭典開催事業 1,800千円)
- 越前古窯博物館の周辺整備【越前町】
(越前焼活性化対策事業 18,650千円)

I-3 (5) 南条SAの集客力の活用

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	未定	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 南条スマートICの整備(民間、H21) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興施設の整備(町、～H31) 南条スマートICのアクセス道路整備(町、～H30) 	

県内唯一のサービスエリアとして年間720万人が利用する北陸自動車道・南条サービスエリア(SA)において、高速道路からも一般道からも利用可能な物販施設や情報発信施設等を整備します。



※南越前町が地域振興施設の整備計画を検討中

出所 南越前町作成

1-3 (6) 今庄宿の歴史空間の再生

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	約7億円	期間	~H29

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 旧昭和会館の登録有形文化財の登録 北国街道の道路空間整備(町、H27) 京藤甚五郎家を活用した交流施設、JR今庄駅舎の改修(町、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> 昭和会館の改修・修景整備、今庄駅前広場等の整備(町、H29) 	<ul style="list-style-type: none"> 今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成

今庄宿の歴史的なまちなみを保存し、旧北国街道宿場町の景観を再生します。



○昭和会館等の改修・修景整備
 ・宿場町の魅力発信拠点として、今庄宿の保存・活用（歴史文化の展示や住民、観光客の交流の場）



■ 伝統的外観が残されている民家等

○JR今庄駅舎改修
 ・今庄まちなみ情報館を増設し、観光客の窓口として、今庄宿、鉄道の町等の情報発信



今庄まちなみ情報館イメージ

○29年度実施事業【福井県】
 ・南越前町が行う昭和会館等の整備への支援（観光まちなみ魅力アップ事業 71,459千円）

○29年度実施事業【南越前町】
 ・昭和会館の改修、JR今庄駅前広場等の整備（今庄宿プロジェクト 264,514千円）



京藤甚五郎家・齋藤家の保存改修



北国街道の道路空間整備

出所「今庄宿まちづくりプロジェクト」(南越前町)より

主体	県・市町	場所	越前町他
事業費	約3億円	期間	～H28

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルコースの設定(県、H27) ・ツリーピクニックアドベンチャーの整備(池田町、H27) ・旧池田第三小学校の改修(池田町、H27) ・水仙ランドレストランの整備(越前町、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧池田第三小学校の合宿施設強化(池田町、H29～) ・越前町の水仙畑イルミネーションの継続(越前町、H28～) ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、H28～) 	

ふくいの里山や周辺の名所・旧跡を巡るトレイルコースの設定など、里山里海湖の体験施設の整備を進めます。

○Satoyamaトレイルコース

越前海岸～府中 古道コース(約27km)



○29年度実施事業【福井県】

- ・越前海岸の水仙畑の文化的景観保存調査の実施(再掲)
(福井ふるさと広域景観形成事業 13,220千円の内数)

○ビューティフル3セット 観光プロジェクト(越前町)



文学資料館をレストランに改修
(イメージ)

○ツリーピクニックアドベンチャー (池田町)



アドベンチャーパーク
(イメージ)

出所 福井県作成、「ビューティフル3セット観光プロジェクト」(越前町)、「木望(きぼう)のまち プロジェクト」(池田町)より

I-4 新幹線開業対策 敦賀駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及させる基盤づくり(新幹線駅前広場の整備、小浜線や二次交通の拡充など)
- ・海陸交通の要衝としての歴史再生による敦賀港および金ヶ崎地区の再整備
- ・里山里海湖の自然と歴史を体験する三方五湖の観光資源化

広域道路の整備促進

- ・岡山松陵線
- ・敦賀南スマートIC
- ・三方五湖スマートIC など

金ヶ崎周辺の再生整備 (P34)

金ヶ崎地区を拠点として、鉄道と港の歴史を活かしたまちづくりを実施

- ・赤レンガ倉庫、ランプ小屋の整備
- ・鉄道遺産の活用
- ・敦賀ミュージウムの拡張整備
- ・市立博物館の整備 など

越前海岸の広域観光ルート化【再掲】

里山里海湖の活用 (P35)

里山里海湖の体験フィールドとして、縄文ロマンパーク周辺を整備

- ・里山里海湖研究所の開設
- ・道の駅「三方五湖」の整備
- ・トレイルコースの整備
- ・年縞研究展示施設の整備など

敦賀駅の周辺整備 (P33)

新幹線延伸に向けた敦賀駅周辺の整備

- ・交流施設「オルパーク」の整備
- ・敦賀駅前広場の整備
- ・新幹線駅前広場の整備
- ・敦賀駅アクセス道路の整備 など

里山里海湖の活用 (P35)

里山里海湖の体験フィールドとして、新庄地区を整備



小浜市
附近駅
(場所未定)

北陸新幹線小浜京都ルート
(ルート未定)

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
敦賀駅	鉄道・運輸機構 — 県・敦賀市 — 敦賀市 —	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計		駅舎整備		試験運転等	
		新幹線駅前広場の整備、アクセス道路の整備							
		駅西地区土地活用エリア サウンディング調査	事業者選定		駅西地区土地活用エリアの整備				
敦賀港	県 約2億円 敦賀市 — 敦賀市 — 県・敦賀市 — 県・敦賀市 —	クルーズ船 受入施設			金ヶ崎城跡の保存活用				
				氣比神宮境内、門前の整備					
		金ヶ崎周辺整備構想の実現							
		転車台の 保存		鉄道遺産の活用			ムゼウムの整備		
三方五湖	県 — 若狭町 約1億円 若狭町・民間 — 県 — 美浜町 約1億円 美浜町 約5億円	年縞研究展示施設の整備							
		縄文ロマンパークの再整備							
		三方五湖スマートICの整備							
		園芸研究拠点の整備							
		新庄里地・里山体験施設等の整備							
広域	県・国 —	広域道路の整備促進							

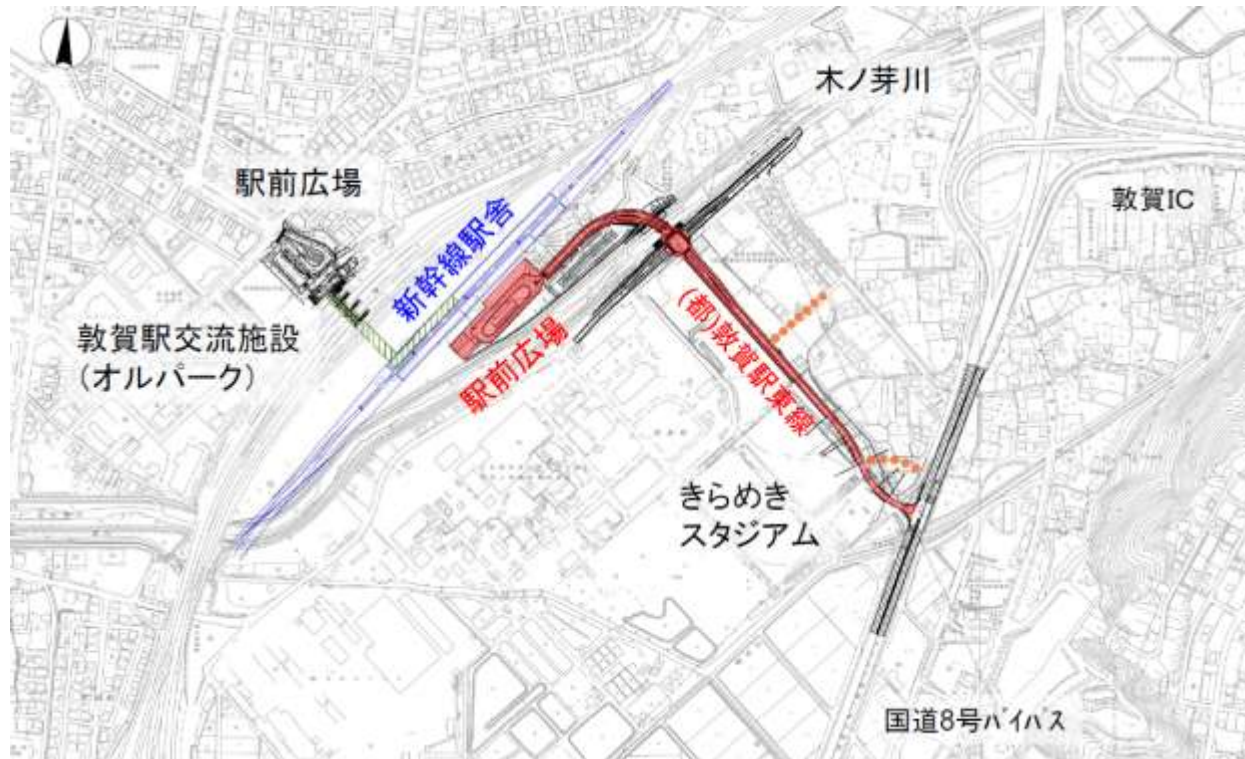
1-4 (1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～H34

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・交流施設「オルパーク」の整備(市、H26) ・敦賀駅前広場の整備(市、H27) ・新幹線駅舎デザインのコンセプト提案(市、H28) ・敦賀駅西地区土地活用エリアのサウンディング型市場調査(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀駅アクセス道路の整備(着手)(県、～H34) ・新幹線駅前広場の整備(市、～H34) ・敦賀駅西地区土地活用エリアの整備(市・民間、～H33) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号の2車線化など道路空間の再構築 ・二次交通の改善

敦賀駅において乗換を行い、北陸と関西、中京間を行き来する旅行客やビジネス客は年間700万人を超えると試算されています。この効果を嶺南全体の観光や産業の活性化につなげるため、交流施設「オルパーク」や敦賀駅前広場に続き、新幹線駅前広場やアクセス道路の整備を進め、新幹線・JR・並行在来線のターミナル駅となる敦賀駅の交通ハブ機能を強化します。

駅舎コンセプト 空に浮かぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～



○29年度実施事業【福井県】

- ・敦賀市が行う新幹線駅の周辺整備支援(北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 -)
- ・新幹線駅のアクセス道路の整備(道路改良事業 105,000千円)

○29年度実施事業【敦賀市】

- ・新幹線駅前広場の詳細設計等の実施(北陸新幹線駅周辺整備事業費 18,954千円)



オルパーク



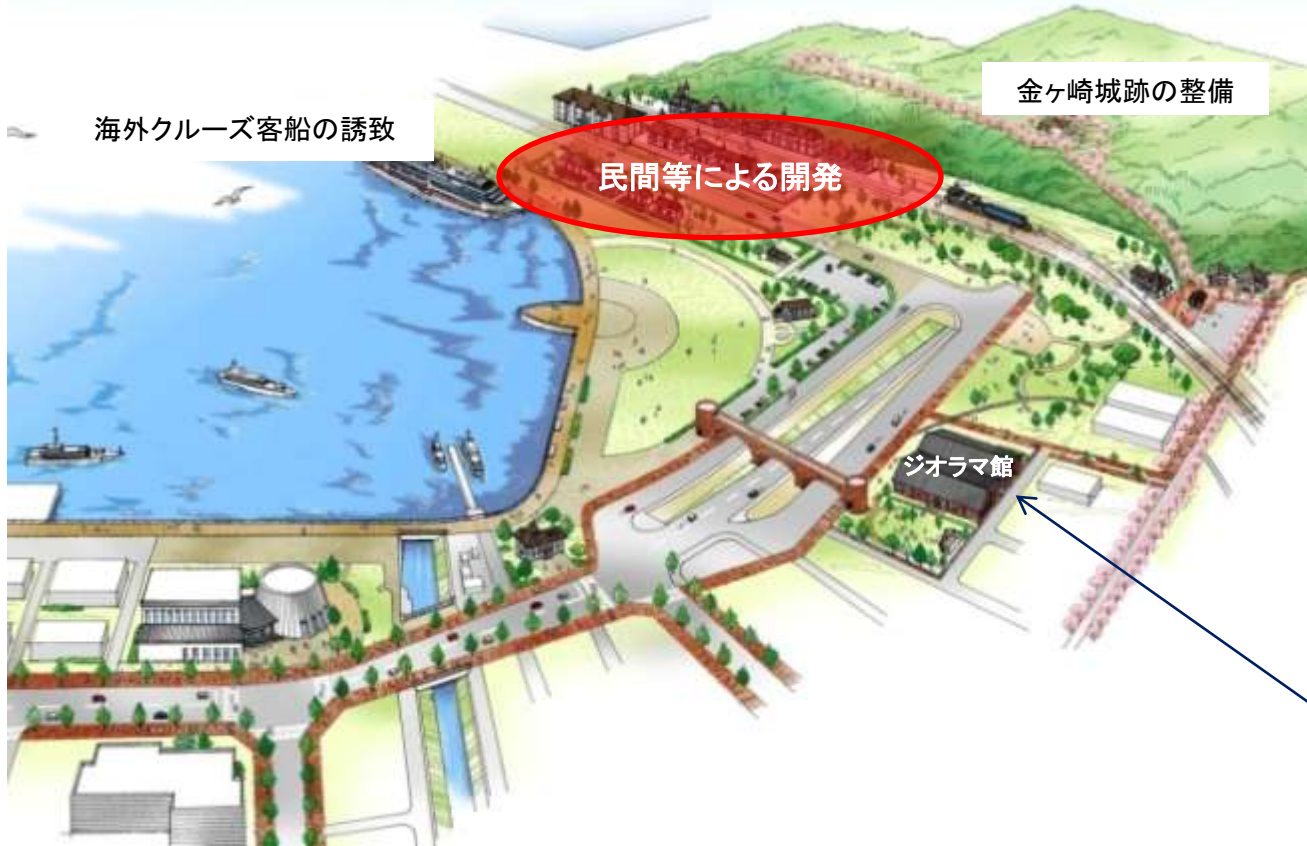
国道8号の2車線化など、道路空間再構築

1-4 (2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	約2億円～	期間	～H34

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 赤レンガ倉庫(ジオラマ館、レストラン館)、ランプ小屋の整備(市、H27) 市立博物館の改修(市、H27) クルーズ船の受入設備の整備(県、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道遺産の活用可能性の検討(県、H28～) 人道の港敦賀ムゼウムの機能拡充(市、～H32) 金ヶ崎城跡の保存活用(市、～H34) 氣比神宮境内および門前の整備(市、～H34) 鉄道遺産をSLバスで巡るツアー(市町、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間による往時のまちなみの復元、商業施設誘致の具体化

赤レンガ倉庫(ジオラマ館およびレストラン館)のリニューアルオープンに続き、さらなる賑わい創出のため、「人道の港」のブランドイメージの形成や明治以降の近代化遺産の活用など、金ヶ崎周辺整備構想を具体化し、実行します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・敦賀駅転車台とレトロ列車の活用に向けた調査(鉄道遺産の保存・活用調査事業 42,614千円)
 - ・個店の改修等の支援(おもてなし商業エリア創出事業 73,873千円の内数)
- 29年度実施事業【敦賀市】
 - ・人道の港敦賀ムゼウムの機能拡充、氣比神宮大鳥居の改修、金ヶ崎城跡の保存活用計画の策定、個店の改修等の支援(金ヶ崎周辺施設整備計画策定等事業など 44,295千円)



ジオラマ館の整備(敦賀市)



金ヶ崎周辺の往時のまちなみ復元(民間)

1-4(3) 三方五湖の自然と歴史の活用

主体	県・町	場所	若狭町・美浜町
事業費	未定	期間	～H30

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖研究所の開設(県、H25) ・ふるさと学びの森の整備(県、H26) ・道の駅「三方五湖」の整備(県、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年縞研究展示施設の整備(県、～H30) ・縄文ロマンパークの再整備(若狭町、～H29) ・三方五湖スマートICの整備(若狭町・民間、～H29) ・新庄里山体験施設の整備(美浜町、～H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産の登録(～H31) ・サイクリングコースの拡張

地質学的年代測定の世界標準として認定され、貴重な歴史資産である水月湖「年縞」を教育と観光両面に活用するため、研究展示施設を整備します。また、若狭三方縄文博物館など、周辺施設と連携した誘客を積極的に進めます。



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・年縞研究展示施設の建設、外構工事 (「年縞」活用推進事業 648,206千円)
 - ・美浜町が行う里山体験施設整備への支援 (ふるさと創造プロジェクト 84,751千円)
- 29年度実施事業【町】
 - ・新庄地区の里山体験施設の整備【美浜町】 (ふるさと創造プロジェクト事業 79,000千円)



年縞研究展示施設の整備

I-4 (4) 園芸・水産の研究と生産の拠点化

主体	県・町・民間	場所	美浜町他
事業費	未定	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・若狭瓜割エコ住宅団地の整備(若狭町、～H27) ・水産加工施設(敦賀市)の整備(民間、～H27) ・海洋生物資源臨海研究センター設置(県、H15) ・熟成魚等の生産加工施設整備(美浜町・民間、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸拠点施設の整備(着手)(県、～H30) ・水産学術産業拠点の整備(着手)(県、～H31) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸拠点施設に隣接する直売所等の整備(美浜町、～H29)

大規模園芸や果樹栽培の技術開発に加え、薬草等の育成による新たな里山里海湖ビジネスに向けた実証や園芸体験等の拠点となる施設を整備します。特に、先進的な薬膳・薬用作物の生産・活用の取組みを支援し、全県的な普及を進めます。また、資源管理や陸上養殖など、水産分野の新たな技術の研究等を行う、水産学術産業拠点の開設をめざします。



- 29年度実施事業【福井県】
- ・薬草展示園、園芸LABO等の整備
(園芸拠点施設整備事業 375,836千円)
 - ・薬用作物の生産振興や薬膳料理の普及支援
(ふくい薬膳推進事業 1,674千円)
 - ・水産学術産業拠点設置に向けた種苗生産施設等の整備
(新魚種養殖振興のための施設整備事業 80,352千円)

○園芸研究センター(美浜町)
※ H28基本計画策定

○若狭瓜割エコビレッジ構想
エコ住宅団地(若狭町)

○水産学術産業拠点(小浜市)
※ H28基本構想策定

- ・資源管理や陸上養殖等、新たな技術開発の研究
- ・国際的な視野を持つ水産業を担う人材の育成



Ⅱ-1 高規格幹線道路開通対策 中部縦貫自動車道周辺エリア

○エリアの方向性

- ・恐竜ブランドに続く歴史遺産のブランド化(中世の宗教都市、大野城下町など)
- ・恐竜渓谷100万人構想の実現に向けた恐竜博物館の研究や展示、アミューズメント機能の強化
- ・中部縦貫自動車道全線開通を機とする中京圏のものづくり産業との連携強化



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～	
勝山IC	勝山市 約5億円	長尾山総合公園の再整備								
	県 約1億円	恐竜骨格化石の充実								
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」の整備								
	県・勝山市 約5千万円	商業エリアの個店 改修								
	勝山市 約1億円	花月楼改修								
	県 約1億円	越前禅定道の再整備								
	県・勝山市 約3億円	旧木下家の保存・活用								
大野IC・大野東IC	大野市 約2億円	古民家ギャラリーの整備								
	大野市 約4千万円	越前大野城の整備								
	県・大野市 約2億円	商業エリアの個店 改修	旧Fマート跡地の 再整備							
	県・大野市 約2億円	スキー体験施設の整備、 つらら館の再整備		六呂師高原の再整備						
	県・大野市 約30億円	重点道の駅「結の故郷(仮称)」の整備								
I 和泉C	大野市 約2億円	化石発掘体験施設の整備								
広域	県・国	広域道路の整備促進								

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
アクセス道路	県 約7億円	勝山インター線							
	県 約4億円	国道416号 大日峠道路							
	県 約5億円	国道157号							
	県・大野市 約30億円	重点道の駅「結の故郷(仮称)」の整備							
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」の整備							
産業基盤	大野市 約20億円	大野市産業団地(仮称)の整備							

II-1 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	大野市ほか
事業費	約71億円～	期間	～H34

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産・加工施設の整備 (大野市、～H27) ・勝山インター線の整備 (県、～H28) ・国道157号大野バイパスの整備 (県、～H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大野市産業団地(仮称)の整備 (大野市、H28～) ・重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」の整備(着手) (県・勝山市、～H32) ・重点道の駅「結の故郷(仮称)」の整備(着手) (県・大野市、～H32) 	

中部縦貫自動車道開通により、奥越は中京・東海エリアとの交流のフロンティアになります。

この効果を地域産業の発展や観光誘客につなげるため、各ICから周辺観光地等へのアクセス道路および重点道の駅を整備します。あわせて、IC周辺における新たな産業団地の整備を進めます。

重点道の駅「結の故郷(仮称)」(大野市)



重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」(勝山市)



出所 国土交通省「重点道の駅」ホームページ、勝山市道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」基本計画より

○29年度実施事業【福井県】

- ・大野市が実施する新たな産業団地造成に向けた実施設計等への支援 (産業団地整備事業補助金 140,100千円)
- ・結の故郷(仮称) 103,950千円
- ・恐竜渓谷ジオパーク(仮称) 11,025千円
- ・大日峠道路 178,500千円

○29年度実施事業【市】

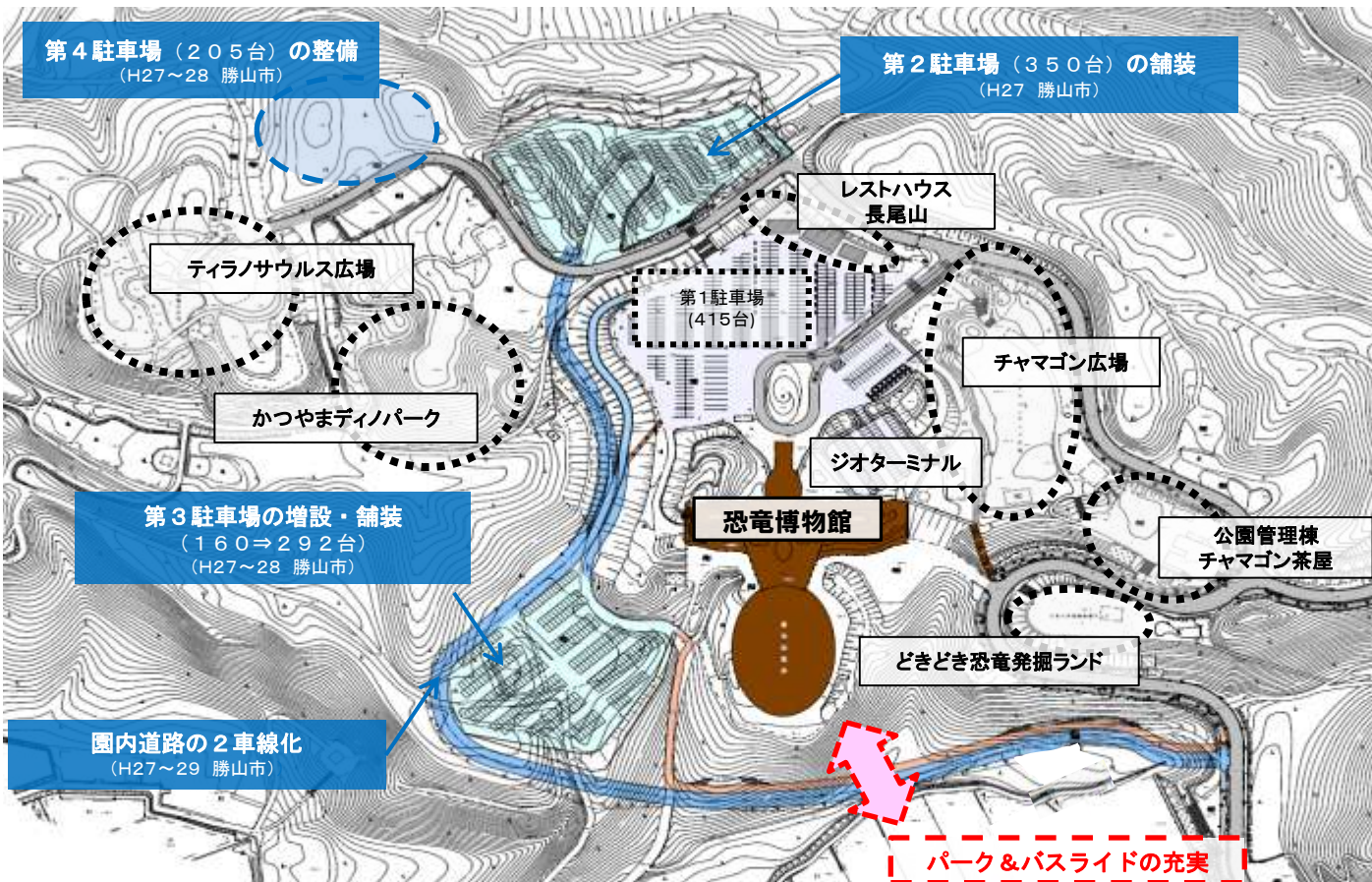
- ・結の故郷(仮称)【大野市】 211,074千円
- ・恐竜渓谷ジオパーク(仮称)【勝山市】 72,136千円

II-1 (2) 恐竜溪谷100万人構想の実現

主体	県・勝山市・民間	場所	勝山市
事業費	未定	期間	H28～

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・野外恐竜博物館の整備(県、H26) ・ディノパークの整備(市、H27) ・第2恐竜博物館(仮称)基本構想の策定(県、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな恐竜実物全身骨格等の展示(県、H27～) ・駐車場増設等の渋滞対策(県・市、H28～) ・ジオターミナルの整備(市、H29) ・第2恐竜博物館(仮称)基本計画の策定(県、H29～) ・天然記念物(化石、発掘地)の保全(県、H29～) 	

本県ダントツのブランドである恐竜博物館の入館者数100万人の実現に向け、恐竜博物館の展示の充実など魅力向上、新たな博物館の整備検討、5種の化石と発掘地の天然記念物指定による保全活用、公園整備等による混雑対策を実施します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・新たな恐竜実物全身骨格等の展示、天然記念物(化石、発掘地)の保全 (恐竜博物館魅力向上事業など 61,888千円)
- 29年度実施事業【勝山市】
 - ・ジオターミナル(観光交流センター)や駐車場等の整備、ホワイトザウルスの復元 (社会資本整備総合交付金事業など 389,117千円)
- 29年度実施事業【福井県】(場所未定)
 - ・新たな恐竜博物館の、立地場所を含めた事業スキーム案や来館者拡大策等の検討 (第2恐竜博物館整備検討事業 8,988千円)

恐竜渓谷100万人構想〔恐竜博物館からの誘客〕

主体	県・勝山市	場所	勝山市
事業費	約1億円	期間	継続実施

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・勝山駅前広場の整備(県、H23) ・電気機関車テキ6展示施設の整備(市、H25) ・旧料亭花月楼の再生(市・民間、H28) ・個店の改修等への支援(県・市、～H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山駅～恐竜博物館間の直通バス等の拡充(市・民間、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜博物館入館者の県内各地への周遊拡大

恐竜博物館を中心に、まちなか(ゆめおーれ勝山、旬菜食祭花月楼)、白山平泉寺、重点道の駅「恐竜渓谷ジオパーク(仮称)」を3拠点として、恐竜博物館入館者の周遊を拡大します。



○29年度実施事業【福井県】
 ・勝山市が行うまちなか巡りツアー等への支援
 (「新ふるさと創造」推進事業
 300,231千円の内数)



勝山駅前の整備

II-1 (3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生

主体	県・勝山市	場所	勝山市
事業費	約1億円	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」の整備 (市、H24) ・東尋坊跡や土蔵周辺の広場整備 (市、H26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・越前禅定道の再整備 (県、～H31) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一乗谷朝倉氏遺跡とあわせた白山平泉寺の日本遺産認定

中世の宗教都市であった平泉寺地区の景観および散策環境を整備。併せて、福井県側から白山登山ルートへとつながる越前禅定道について、老朽化した階段等の補修や不通区間の解消を進めます。



平泉寺周辺の整備



○29年度実施事業【福井県】

- ・平泉寺白山神社～祓川間の登山道の再整備
(越前禅定道の再整備事業 29,000千円)



まほろばの整備



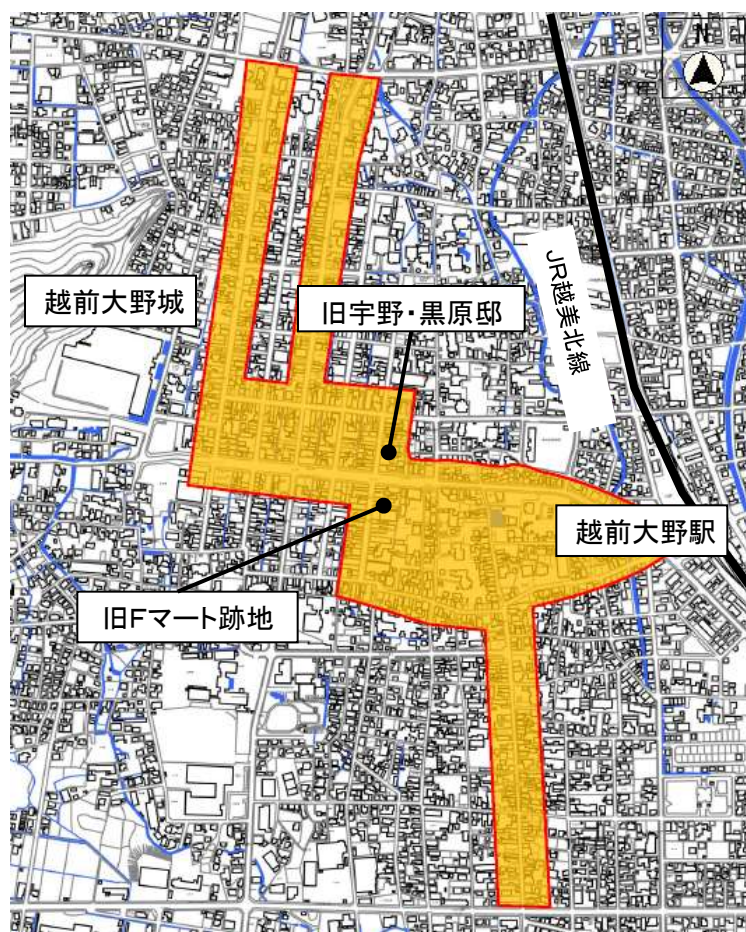
交流拠点の整備

II-1 (4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生

主体	大野市・民間	場所	大野市
事業費	約4億円	期間	～H29

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 越前おおの結駅の整備(市、H21) 城下町南広場の整備(市、H27) 個店の改修等への支援(県・市、～H28) 	<ul style="list-style-type: none"> 古民家ギャラリーの整備(市、～H29) 旧Fマーケット跡地の再整備(民間、H29) 	

歴史あるまちなみの整備に加え、民間事業者による商業基盤施設や歴史的魅力を活かした店舗づくりなどを支援することにより、活気に満ちた越前おおの城下町を再生します。



旧宇野・黒原邸を活用した市民所有絵画の展示

歴史的建造物の保存整備



武家屋敷 旧田村家屋敷

○29年度実施事業【福井県】

- ・大野市が行う古民家ギャラリー整備等への支援
(「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)
- ・旧Fマーケット跡地の新たな商業施設整備への支援
(中小小売商業活性化施設整備事業 10,850千円)

○29年度実施事業【大野市】

- ・古民家ギャラリーの整備、観光客向け店舗改修等への支援、自転車走行空間の整備
(古民家ギャラリー整備事業など 65,416千円)
- ・旧Fマーケット跡地の新たな商業施設整備への支援
(まちの魅力再発見事業 23,755千円)

商店街の核施設の整備



旧Fマーケット跡地の整備(民間)

II-1 (5) 六呂師高原の活性化

主体	県・市	場所	大野市他
事業費	約2億円～	期間	～H30

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 六呂師高原スキー体験施設の整備(県、H28) (簡易リフト、スキーエリア、そりエリア) うらら館の再整備(市、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> 六呂師高原スキー体験施設の機能充実(県、H29～) ミルク工房奥越前の機能向上(県、H29) 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい動物園の移設

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原のスポーツ施設や学習体験施設の機能強化、周辺環境の整備を促進します。



○29年度実施事業【福井県】

- スキー体験施設(人工ゲレンデ)の整備、ミルク工房の改修
(六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業 175,781千円)
- 大野市が行う六呂師高原再生への支援
(「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)

○関連ソフト施策等(県)

奥越青少年自然の家の利用拡大

- 恐竜博物館、六呂師周辺施設と連携したプログラム開発
- スポーツ合宿、小中学生の宿泊体験等の拡大

奥越高原牧場の機能強化

- 簡易放牧施設の整備
- 酪農体験期間の拡大

自然保護センターの機能強化

- 個人向け体験プログラムの充実
- 自然体験活動の充実

○体験メニューの充実(県)

- 六呂師高原スキー体験施設の整備(簡易リフト、スキーエリア、そりエリア等)

○ミルク工房奥越前の誘客力強化(県)

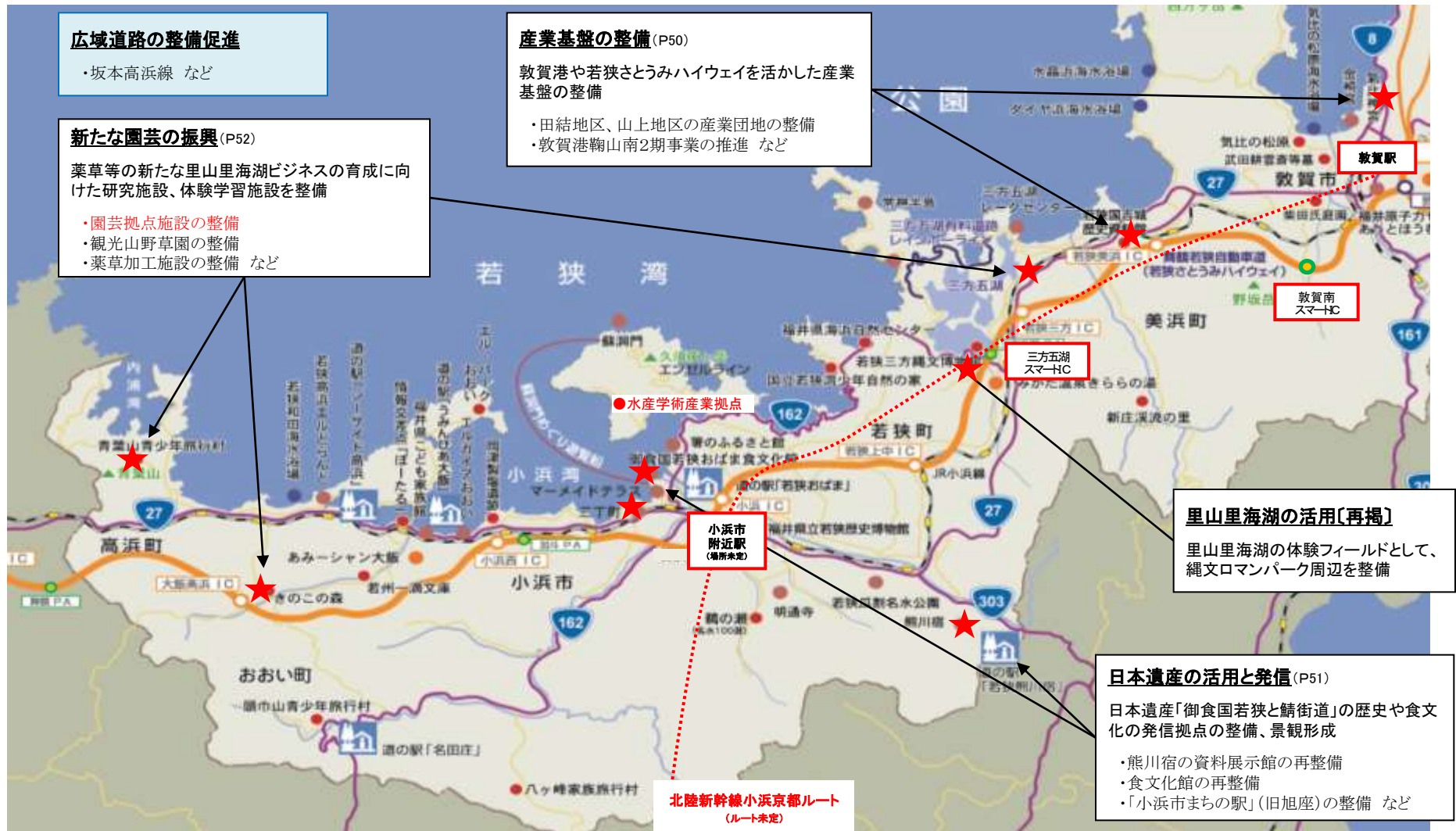
- 奥越高原牧場の生乳を利用した加工体験、イベントの実施

Ⅱ-2 高規格幹線道路開通対策 若狭さとうみハイウェイ周辺エリア

※新幹線小浜京都ルート決定を受け、人の交流・滞在拡大を通じた地域づくりを進めるため、若狭湾エリアの新たな地域構想を検討

○エリアの方向性

- ・日本遺産や寺社仏閣など国宝群をつなげた関西との広域観光ルート形成
- ・JR小浜線、若狭さとうみハイウェイの活用による敦賀からの誘客強化（観光列車、バスの運行など）
- ・大規模園芸施設や研究開発型企業の誘致等を活かした新たな地域産業の創出



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
小浜 IC	小浜市 約10億円	まちの駅等の整備							
	小浜市 約24億円	小浜縦貫線の整備							
	小浜市 約1億円	重点道の駅「若狭おばま」の拡張							
	県・小浜市 — —	小浜駅周辺の魅力アップ							
	— —	水産学術産業拠点の整備							
大飯高浜 IC	高浜町 約2千万円	青葉山麓の周辺整備							
	高浜町 約10億円	城山公園の再整備							
	高浜町 約28億円	新庁舎の整備							
	県・高浜町 約1千万円	商業エリアの個店 改修							
	県・高浜町 約8億円	高浜漁港の6次産業化整備							
	おおい町 約5億円	きのこの森の再整備							
	おおい町 約2億円	八ヶ峰旅行村の 再整備							
広域	県・国 —	広域道路の整備促進							

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
アクセス道路	敦賀市・民間 —	敦賀南スマートICの整備							
	県 約18億円	岡山松陵線整備							
	若狭町・民間 —	三方五湖スマートICの整備							
産業基盤	国・県 約180億円	鞠山南2期工事 (～H37)							
	敦賀市 約23億円	産業団地の整備(田結地区)							
	美浜町 約3億円	若狭美浜インター産業団地の整備							
	高浜町 約15億円	高浜漁港の再整備							
	高浜町 約15億円	次世代園芸施設の整備							
	県・高浜町 約5千万円	薬草加工施設の整備							
	県・市町 —	大規模園芸ハウスの整備							
	県 約2億円	内浦港ふ頭用地の拡張							

II-2 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	敦賀市ほか
事業費	約260億円～	期間	～H37

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・若狭さとうみハイウェイの整備(民間、～H26) ・国道27号金山バイパスの整備(国、～H26) ・若狭美浜インター産業団地の整備(美浜町、～H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・田結地区の産業団地の整備(敦賀市、～H30) ・スマートICの整備(民間、～H29) ・大規模園芸ハウスの整備(県・市町、～H31) ・内浦港ふ頭用地の拡張(県、～H30) 	

若狭さとうみハイウェイ全線開通などにより、嶺南地域は関西・中京との多重型の環状ルートが形成されています。この二つの大都市圏に最も近い日本海側の地域としての特性を活かし、敦賀港における国際物流の拡大や嶺南地域全体への企業誘致を促進します。

このため、各ICからのアクセス道路やスマートICおよび道の駅の整備・拡張を進めます。あわせて、敦賀港の機能拡張と高速道沿線の新たな産業団地の整備など、一体的な基盤整備を推進します。

敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル(敦賀市)



○29年度実施事業【福井県】

・岡山松陵線	653,000千円
・敦賀港鞠山南地区2期	726,100千円
・産業団地(田結地区)	450,200千円
・内浦港ふ頭	10,000千円

○29年度実施事業【市町】

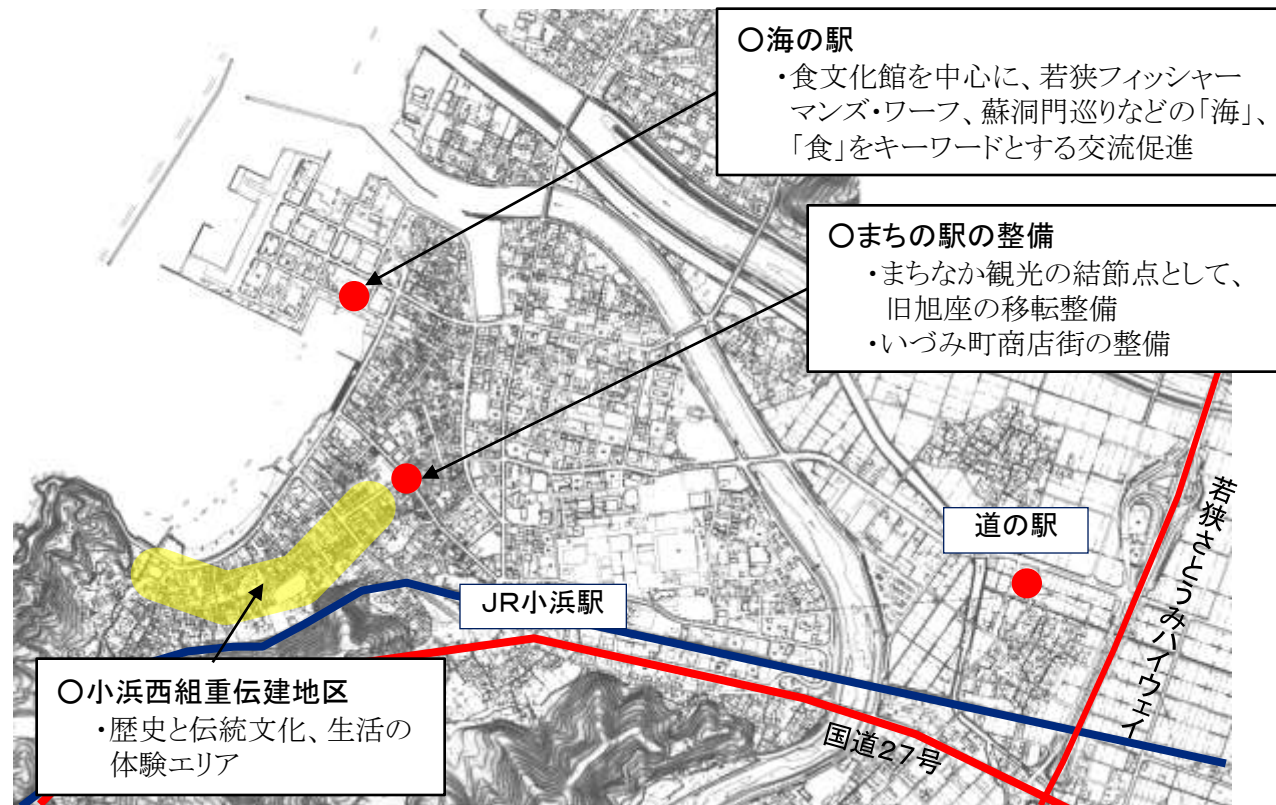
・三方PAスマートIC【若狭町】	234,300千円
・道の駅【美浜町】	11,016千円
・高浜漁港【高浜町】	32,000千円

II-2 (2) 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」のレベルアップ

主体	市町	場所	小浜市他
事業費	約34億円	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・食文化館の再整備(市、H26) ・つばき回廊跡地のまちの駅の整備(旧旭座の移転)(市、H27) ・道の駅「若狭熊川宿」の改修(町、H27) ・熊川宿地域資源活用計画の策定(町、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・三丁町や旧丹後街道の街路整備、電線地中化等の実施(市、～H29) ・重点道の駅「若狭おぼま」の拡張(市、～H31) ・小浜縦貫線(いづみ町)の整備(市、～H31) ・新幹線駅周辺のまちづくりの検討(市、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅」と「まちの駅」、「海の駅」のネットワーク強化 ・日本遺産の関連地域の整備と誘客拡大

重要伝統的建造物群保存地区「小浜西組」および周辺エリアにおいて、まち歩き観光の拠点となる「小浜市まちの駅」や三丁町(茶屋町)、旧丹後街道(商家町)の街路の整備、無電柱化等を実施します。
また、新幹線駅(東小浜附近)周辺のまちづくりや土地利用の方針、中心市街地とのアクセス確保の検討に着手します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - ・小浜市の観光地づくりへの支援(観光まちなみ魅力アップ事業 41,392千円)
- 29年度実施事業【市町】
 - ・新幹線開業に向けたまちづくりの計画策定【小浜市】(新まちづくり基本構想・基本計画策定事業 3,159千円)
 - ・小浜縦貫線の用地取得、いづみの広場(仮称)の整備【小浜市】(社会資本整備事業など 430,412千円)
 - ・重点道の駅へのバスターミナル整備【小浜市】(重点道の駅整備事業 20,200千円)
 - ・熊川宿の民家修景【若狭町】(熊川保存整備事業 8,000千円)



「まちの駅」や歴史的景観の整備



道の駅「若狭熊川宿」の改修整備

II-2 (3) 里山と里海湖の観光ビジネスの強化

主体	県・町	場所	高浜町他
事業費	約11億円	期間	～H31

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 青葉山麓の観光山野草園、ビジターセンターの整備(高浜町、H27) 個店の改修等への支援(県・高浜町、～H28) 八ヶ峰家族旅行村の再整備(おおい町、～H28) ブルーフラッグの認証取得(和田海岸) 	<ul style="list-style-type: none"> きのこの森体験学習施設の整備(おおい町、～H29) 薬草加工施設等の整備(高浜町、～H30) 城山公園の整備(高浜町、～H32) 高浜漁港の6次産業施設の整備(高浜町、～H31) 	

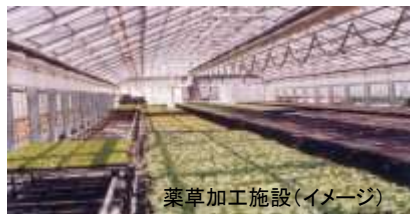
県内の中でも里山と里海湖が最も近接する高浜町、おおい町において、国際認証ブルーフラッグの取得による発信強化、特用林産物や薬草等の体験学習施設を整備します。

また、海産物や林産物等を使う六次化商品の開発、販売促進を応援します。



- 29年度実施事業【福井県】
 - 高浜町が行う薬草産地化への支援 (「新ふるさと創造」推進事業 300,231千円の内数)
 - おおい町のまちづくりへの支援 (ふるさと創造プロジェクト 9,198千円)
- 29年度実施事業【町】
 - 薬草加工施設、青葉山麓の観光エリアの整備、城山公園の再整備計画の策定【高浜町】 (青葉山健康長寿の里事業など 30,480千円)
 - 高浜漁港の活性化計画の策定等【高浜町】 (漁港整備事業 8,724千円)
 - きのこの森の再整備等【おおい町】 (きのこの森再整備など 9,198千円)

青葉山健康長寿の里[ハーバルビレッジ](高浜町)



- 青少年旅行村をビジターセンターとして再整備
- 京都大学等と連携した薬草ビジネスの共同研究
- 薬草の育苗、加工施設の整備

きのこの森(おおい町)



- 町特産のきのこ類の通年型収穫体験施設の整備
- 「きのこのしり館」学習機能強化

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 H28～事業費	H28	H29	H30 (福井国体)	H31	H32 (置県140年)	H33	H34 (開業)	H35～
二次交通	県 約115億円	えちぜん鉄道の高架化							
	民間 — 県・町・民間 —		北陸本線へのICOCA導入・運用						
	県・市町・民間 —		自動走行システムの実証						
	県・市町・民間 —	並行在来線 需要予測調査	収支予測調査		経営計画策定		並行在来線新会社移行・開業		運行・拡充
	民間 —	新幹線駅等からの二次交通の充実							
	市町・民間 —	広域バスや特急バスの運行							
里山ビジネス	県 —	中山間地域の誘客施設の整備							
	県 約4億円	ふくい農業ビジネスセンターの整備							
	民間 約2億円	ワイナリーの整備							
	県 約2億円	ふくい林業研修センター(仮称)の整備							
文化発信	県・市町 —	日本遺産認定の拡大							
	県・市町 —	アニバーサリーによる発信							
景観づくり	県・市町 —	広域景観ガイドライン 策定	文化的景観保存調査	福井ふるさと広域景観の形成					
	県・民間 —	屋外広告物の撤去・改修							
	県・市町・民間 —	花の景観づくり							

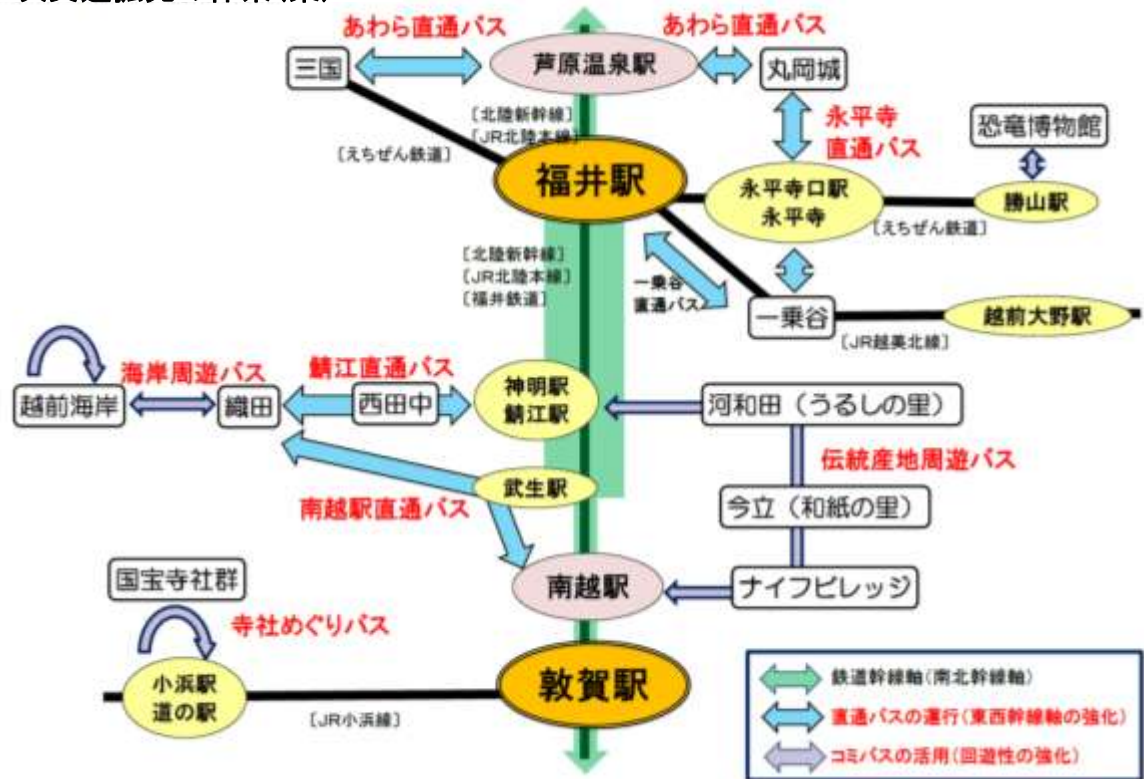
主体	県・市町・民間	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (1) 地域公共交通ネットワークの拡充

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ〔P3再掲〕 福井鉄道福武線福井駅前線の延伸〔P3再掲〕 	<ul style="list-style-type: none"> えちぜん鉄道の高架化〔P3再掲〕 市内循環鉄道の調査〔P3再掲〕 北陸本線へのICOCAの導入(民間、~H30) 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者と鉄道が共存できる空間整備の検討〔P3再掲〕 新幹線駅からの二次交通の確保〔P15他再掲〕

新幹線駅を中心として、JR・並行在来線、地域鉄道、バス等を一体的に組み合わせ、利便性の高い地域公共交通ネットワークを実現します。

二次交通拡充の体系(案)



今後の拡充方針

- (JR・並行在来線、地域鉄道)
 - 並行在来線、地域鉄道、バスを一体的に組み合わせ経営とサービスを強化
 - 北陸本線の第3セクター化後の新駅設置
 - 小浜線の観光利用の拡大
- (路線バス、コミュニティバス)
 - 市町を超える広域バスの運行
 - コミュニティバスを休日の観光地循環バスとして活用
 - 福井駅から主要観光地への特急バスを運行
 - 福井市のまちなか観光エリアのバスを低料金化
- (その他)
 - ICカード乗車券の導入
 - クルマの自動走行の実証・導入拡大(P9)
 - 観光客向けカーシェアリングの拡大
 - 道路空間の再配分により、歩行者や自転車の快適な利用環境を確保

III - (2) 里山里海湖ビジネスの拡大

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	～H31

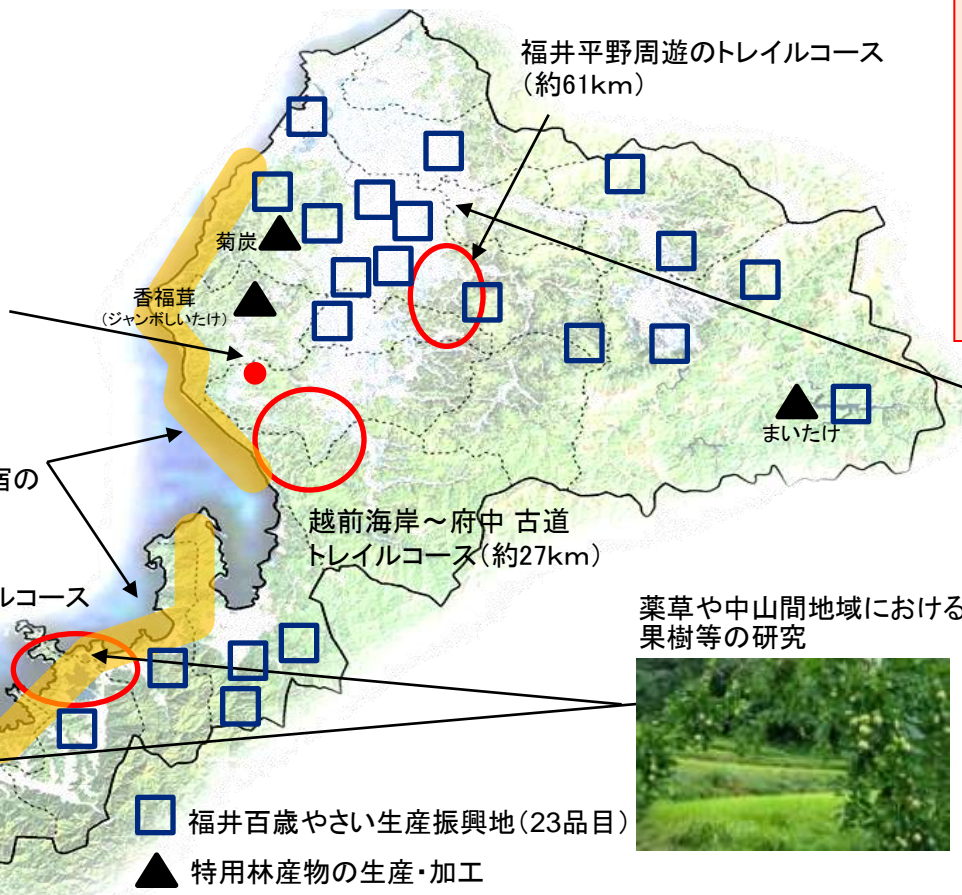
これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 小規模農業者チャレンジ応援基金造成 (県、H27) トレイルコース3コースの設定 (県、H27) ふくい農業ビジネスセンターの設置 (県、H28) 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の誘客拠点施設の整備 (県、～H30) ワイナリーの整備 (民間、H29) ふくい林業研修センター(仮称)の整備 (県、～H31) 	

福井県の農林水産物の生産はコメが中心であり、園芸や食品関連製造業の育成が必要です。大規模施設園芸等の導入に加え、「利益の上がる農林水産業」に転換するための柱の一つとして、里山里海湖の地域資源を活かした誘客と新商品の開発を一体的に進め、特色ある里山里海湖ビジネスを展開します。

ふくい農業ビジネスセンター



ワインブドウ栽培、ワイン醸造に関する人材育成の機能追加



○29年度実施事業【福井県】

- 中山間地域の誘客施設の整備 (里山里海湖ビジネス推進事業 26,029千円)
- 里山里海湖ビジネスを担う人材の育成 (新たな農業ビジネス創出事業 19,563千円)
- 中山間地域におけるワイナリーの整備 (ふくいワイン振興事業 140,400千円)
- ふくい林業研修センター(仮称)の整備 (林業ビジネスの拠点整備 172,450千円の内数)

ふくい林業研修センター(仮称)



林業・木材産業に関する人材育成、特用林産物等の流通・販売促進の拠点を整備

薬草や中山間地域における果樹等の研究



主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」認定 (国、H27) 世界無形文化遺産「和食」登録(H25) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認定申請(県・市町) 白山眺望ポイントの整備(県・市町、H29～) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の認定等とあわせたアニバーサリー事業による全国発信 世界農業遺産や無形文化遺産の登録申請 大河ドラマの誘致

福井県の歴史遺産や伝統文化の価値を、日本遺産や世界遺産への登録等により高め発信し、インバウンド誘客を強化します。また、学術的な調査研究に加え、遺跡復元や周辺の景観づくりを促進します。

世界無形文化遺産
 「和食 日本人の伝統的な食文化」
 ユネスコ世界無形文化遺産
 「和食」の世界無形文化遺産登録に貢献した伝統の福井和食をインバウンドに活用

日本遺産
 「きつと恋する六古窯
 ～日本生まれ日本育ちのやきもの産地～」
 (平成29年2月申請)

日本遺産
 「工房群に美技ひしめくまち～越前」
 (平成29年2月申請)

世界農業遺産
 三方五湖の認定申請
 (平成30年度申請予定)

日本遺産
 「白山に育まれた禅文化 一修行のみち・感謝のみち～」(平成29年2月申請)

日本遺産
 「時空を超えた都市に出会う旅
 ～中世・戦国の巨大都市物語 越前・福井～」
 (平成29年2月申請)

日本遺産
 「山峡の盆地に浮かぶ城下町
 ～戦国の基盤都市 越前大野が育んだ400年～」
 (平成29年2月申請)

世界無形文化遺産
 「漆文化」の登録要請

世界無形文化遺産
 「和紙」の追加登録要請

日本遺産
 「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
 ～北前船寄港地・船主集落～」
 (平成29年2月申請)

日本遺産
 「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国若狭と鯖街道～」
 (平成27年4月 認定)

○今後の関連アニバーサリー
 丸岡城築城440年 (2016年)
 白山開山1300年 (2017年)
 敦賀港開港120年 (2019年)
 一乗谷城下町建設550年 (2021年)
 吉崎御坊建立550年 (2021年)
 敦賀港線開通140年 (2022年)

主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (4) 里山里海湖の景観の保全・活用

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> ・ふくいふるさと音風景の募集(県、H27) ・福井ふるさと百景の設定(県、H23) ・伝統的民家群保存活用推進地区の設定(県、H23～) ・福井ふるさと広域景観軸の設定、広域景観ガイドラインの策定(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、H28～) ・国体に向けた花の景観づくり(県、H28～) ・屋外広告物の規制強化(県、H28～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・越前海岸水仙畑の重要文化的景観申出 ・新幹線から見える大景観、新幹線を眺めるビュースポットの整備

里山里海湖や伝統的民家のまちなみなど、福井らしい景観を創造し、観光資源として発信します。さらに、新幹線車窓から眺望できる大景観と新幹線を眺めるビュースポットをつくります。

特に、福井国体の開催に向けて、各会場までのアクセス道路における「花の回廊」づくり、観光地周辺や田園地域における屋外広告物の改善を進めます。

広域景観の形成



越前町梨子ヶ平の越前水仙



三方五湖周辺の梅林



○29年度実施事業【福井県】

- ・越前海岸水仙畑の文化的景観保存調査の実施 (福井ふるさと広域景観形成事業 13,220千円)
- ・国体アクセス道路の植栽等 (緑と花の県民運動の推進 22,359千円)
- ・屋外広告物の撤去・改修 (屋外広告物景観改善支援事業 93,467千円)

新幹線沿線や観光地周辺の景観形成



観光地周辺における景観改善イメージ

IV 市町等の応援方策

観光やまちづくりの中心は市町であり、県は広域的視点からの取組みを総合化し、県全体として底上げする役割を担います。本冊子に掲げた各プロジェクトを推進するため、市町が地域住民等とともに実行するプロジェクトを県独自の仕組みをつくり、積極的に応援します。

まちづくり、定住・移住促進に関する主なもの

- 北陸新幹線三駅周辺整備推進事業(H28～)
 - ・新幹線駅設置3市が実施する駅前広場や駐車場などの駅周辺整備を応援
 - ふるさと創造プロジェクト(H24～)
 - ・地域資源を活用した市町の魅力ある地域づくりを応援
(事業費総額 約30億円)
 - 「新ふるさと創造」推進事業(H28～)
 - ・ふるさと創造プロジェクトの発展のため、担い手の育成や既存施設の改修を応援
 - ふくい創生・人口減少対策
 - ・定住や移住促進のため、長期滞在受入に向けた環境整備や空き家の取得等を応援
- 主な施策

 - ・幸福ふくいロングステイ推進事業(H29～)
 - ・子育て世帯と移住者への住まい支援事業(H27～)
 - ・多世帯同居・近居住まい推進事業(H25～) 等

産業・ビジネス、観光振興に関する主なもの

- 観光まちなみ魅力アップ事業(H24～)
 - ・伝統的まちなみや地域独自の歴史・文化を活かした観光地のスケールアップを応援
(事業費総額 約52億円)
- 周遊・滞在型観光推進事業(H28～)
 - ・観光資源をネットワーク化し、エリア全体の誘客力を強化する施策を応援
- 歴史資源魅力創出事業(H29～)
 - ・幕末明治期の歴史資源を活用したゆかりの地の整備や全国に向けた情報発信を応援
- 地域商業活性化事業(H29～)
 - ・ICカードリーダーの導入をはじめ、商店街等において、観光客などに対応するための整備を応援
- 産業団地整備事業(H25～)
 - ・敦賀市、大野市における産業団地整備を応援
- 里山里海湖ビジネス推進事業(H27～)
 - ・里山里海湖の地域資源を活かした誘客活動と施設整備を一体的に応援

【追加】V 近隣府県との連携プロジェクト

高速交通ネットワークの完成により、福井は東西南北に開かれた地域になります。

そのため、各地の都市や地域、産業、観光などの基盤づくりに加えて、近隣府県と連携し、福井へのヒト・モノ・カネ・情報の行き来を活発化するプロジェクトを重点的に実行します。

○恐竜や食を活かした全国PR事業(H29～)

・石川県、富山県と連携し、大阪食の博覧会への出展、Japanese Beauty Hokurikuなどの誘客キャンペーン等を実施

○国際工芸サミット(仮称)開催事業(H29～)

・石川県、富山県と連携し、国際工芸展やシンポジウムを開催、テーブルウェアフェスティバルに出展

○小松空港国際定期路線開拓推進事業(H29～)

・石川県との連携による香港メディアを活用したPR、県民に向けた国際線利用促進のための広報等を実施

○泰澄白山開山一千三百年記念事業(H29～)

・石川県、岐阜県と連携し、泰澄大師の白山開山1300年となる平成29年に、泰澄ゆかりの地をめぐるバスツアー、共同観光プロモーション等を実施

○「御食国・和食の祭典」開催事業(H29～)

・兵庫県、三重県など他の御食国や京都府と連携し、御食国サミットを開催

○福井・滋賀・京都観光連携事業(H29～)

・滋賀県、京都府と連携し、3府県の日本遺産等を活かした観光ルートの開発・共同営業、高速道路定額乗り放題プラン等を実施

【参考】エリア別プロジェクトの体系

※ 黒字は着手済みの事業 赤字は29年度予算の新規事業等 青字は、今後の検討課題

○北陸新幹線

		福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
福井駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備、 ②高架下活用、 ③新幹線駅構内の観光案内所設置 ④駅周辺駐車場の確保(大型バス)	
	駅周辺の整備	①西口再開発ビル整備、②福井駅西口・東口広場の整備、 ③えちぜん鉄道の高架化、④市中央公園の整備、 ⑤山里口御門の復元、⑥個店等の改修、 ⑦足羽山ビジターセンターの整備		①福井城址公園の整備、 ②足羽山の再整備
	二次交通・道路	①えち鉄・福鉄の相互乗入れ、②永平寺インター道路の整備		①国道158号バイパスの整備
	周辺の拠点整備	①永平寺門前旧参道等の整備、②道の駅「禅の里」の整備、 ③観光交流施設(拠点)の整備(永平寺町)、④オーベルジュの整備	①朝倉氏遺跡の新博物館の整備、 ②一乗谷朝倉氏庭園の再生、 ③みらくる亭の大規模改修、 ④禅の道の整備	
芦原温泉駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備	
	駅周辺の整備		①駅東西広場の整備、 ②アクセス道路の整備	
	二次交通・道路	①国道8号福井バイパスの整備、②三国東尋坊芦原線の整備、 ③金沢・小松空港との連絡バス、④周遊バス路線の拡充		①福井港丸岡インター連絡道路整備、 ②福井森田丸岡線の整備
	周辺の拠点整備	①三国湊の町家活用、②あわら温泉街の整備、③竹田小の活用、 ④ゆりの里公園の整備、⑤児童科学館リニューアル	①三国駅ビルの再整備	①丸岡城の国宝化

○北陸新幹線

	福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
南越駅(仮称)	駅舎の整備		
	駅周辺の整備	①越前市役所新庁舎の整備、 ②アクセス道路の整備、 ③駅前広場等の整備	
	二次交通・道路	①国道476号持越バイパスの整備	①国道417号冠山峠道路の整備、 ②バス路線の見直し
	周辺の拠点整備	①サンドーム福井の再整備、②越前古窯博物館の整備、 ③紙の文化博物館の再整備、④今庄宿の整備、 ⑤右近家周辺の整備、⑥水仙ランドの再整備、 ⑦打刃物拠点施設の整備	①南条SA地域振興施設の整備、 ②ラポーゼかわだ再整備
敦賀駅	駅舎の整備		①円滑な乗換環境の整備
	駅周辺の整備		①アクセス道路の整備、 ②新幹線駅前広場の整備
	二次交通・道路		
	周辺の拠点整備	①赤レンガ倉庫等の整備、②縄文ロマンパークの整備、 ③クルーズ船の受入れ施設整備、④年縞研究展示施設の整備	①金ヶ崎城址の活用、 ②氣比神宮境内、門前の整備、 ③ムゼウムの機能拡充、 ④鉄道遺産の活用

○中部縦貫自動車道・若狭さとうみハイウェイ・北陸自動車道

中部縦貫自動車道		福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
福井北・	産業基盤の整備	①永平寺インター道路整備(再掲)		
永平寺IC	周辺の観光地	①永平寺門前旧参道等の整備(再掲)、 ②道の駅「禅の里」の整備(再掲)、③観光交流施設(拠点)の整備(再掲)		
大野・勝山IC	産業基盤の整備	①国道157号大野バイパスの整備、②勝山インター線の整備、 ③国道416号大日峠道路の整備	①重点道の駅の整備(結の故郷(仮称)、 恐竜渓谷ジオパーク(仮称)) ②産業団地の整備(富田地区)	
	周辺の拠点整備	①恐竜化石展示の拡大、②長尾山総合公園の再整備、 ③ジオターミナルの整備、④六呂師高原の再整備	①越前禅定道の再整備	
和泉IC	産業基盤の整備	①特用林産物生産・加工施設の整備		
	周辺の拠点整備	①化石発掘体験施設の整備		
若狭さとうみハイウェイ				
敦賀IC	産業基盤の整備	①若狭美浜インター産業団地の整備、 ②敦賀南スマートICの整備、③三方五湖スマートICの整備、 ④園芸研究拠点の整備	①産業団地の整備(田結地区)	①敦賀港鞠山南2期事業
小浜IC	産業基盤の整備		①水産学術産業拠点の整備	
	周辺の拠点整備	①小浜市まちの駅の整備、②道の駅「若狭熊川宿」の再整備	①重点道の駅「若狭おばま」の拡張、 ②小浜駅の魅力アップ	
大飯高浜IC	産業基盤の整備	①大規模園芸施設の整備、②高浜漁港の整備、 ③葉草加工施設の整備、④内浦港の整備、 ④高浜漁港の6次産業化整備	①坂本高浜線の整備	
	周辺の拠点整備	①きのこの森の再整備、②城山公園の再整備、 ③ハヶ峰旅行村の再整備、④青葉山の周辺整備		
北陸自動車道【再掲】				
			①南条SA地域振興施設の整備	①福井港丸岡インター連絡道路整備

○広域プロジェクト・ソフト施策

	福井国体までに実現	新幹線等開通までに実現	開業後も継続
公共交通等	①路線バス網の見直し、②福井市内循環鉄道の調査、 ③ICOCAの導入、④自動走行の実証	①並行在来線の運行充実、 ②観光タクシーの拡充、	①自転車の走行空間整備
道路			①若狭さとうみハイウェイの4車線化、 ②地域内道路(再掲)、 ③県境道路の整備(再掲)
産業・商業	①オーベルジュの整備(再掲)、②里山ビジネスの研修拠点の整備、 ③ワイナリーの整備、④ふくい林業研修センター(仮称)整備、 ⑤ICカードリーダーの導入、⑥観光土産品の開発・発信、 ⑦酒蔵等の活用	①大規模園芸ハウスの整備	①企業誘致、 ②個店や商店街の活性化
歴史・文化財	①幕末明治150年のアニバーサリー発信	①日本遺産の認定・活用、 ②大河ドラマの誘致	①伝統的民家の活用、 ②文化財指定の促進、 ③世界遺産の登録
自然環境、景観	①里山トレイルの設定、②国体に向けた花の景観づくり	①屋外広告物の撤去・改修、 ②重要文化的景観の申出	①里山里海湖等の広域景観の形成
広域誘客	①Wi-Fiの整備、②教育旅行の受け皿づくり		①京都等との広域観光、 ②コンベンションの誘致